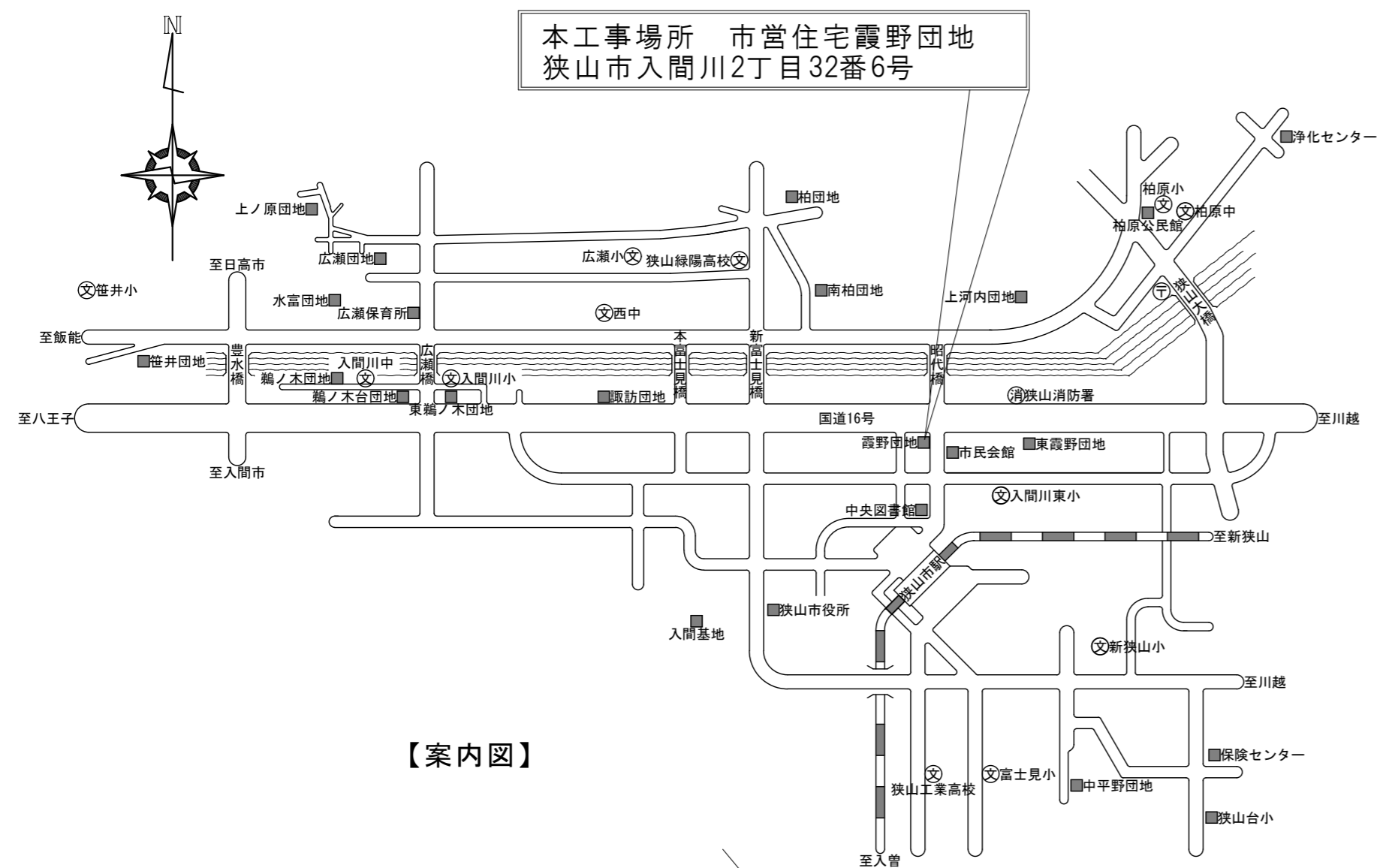
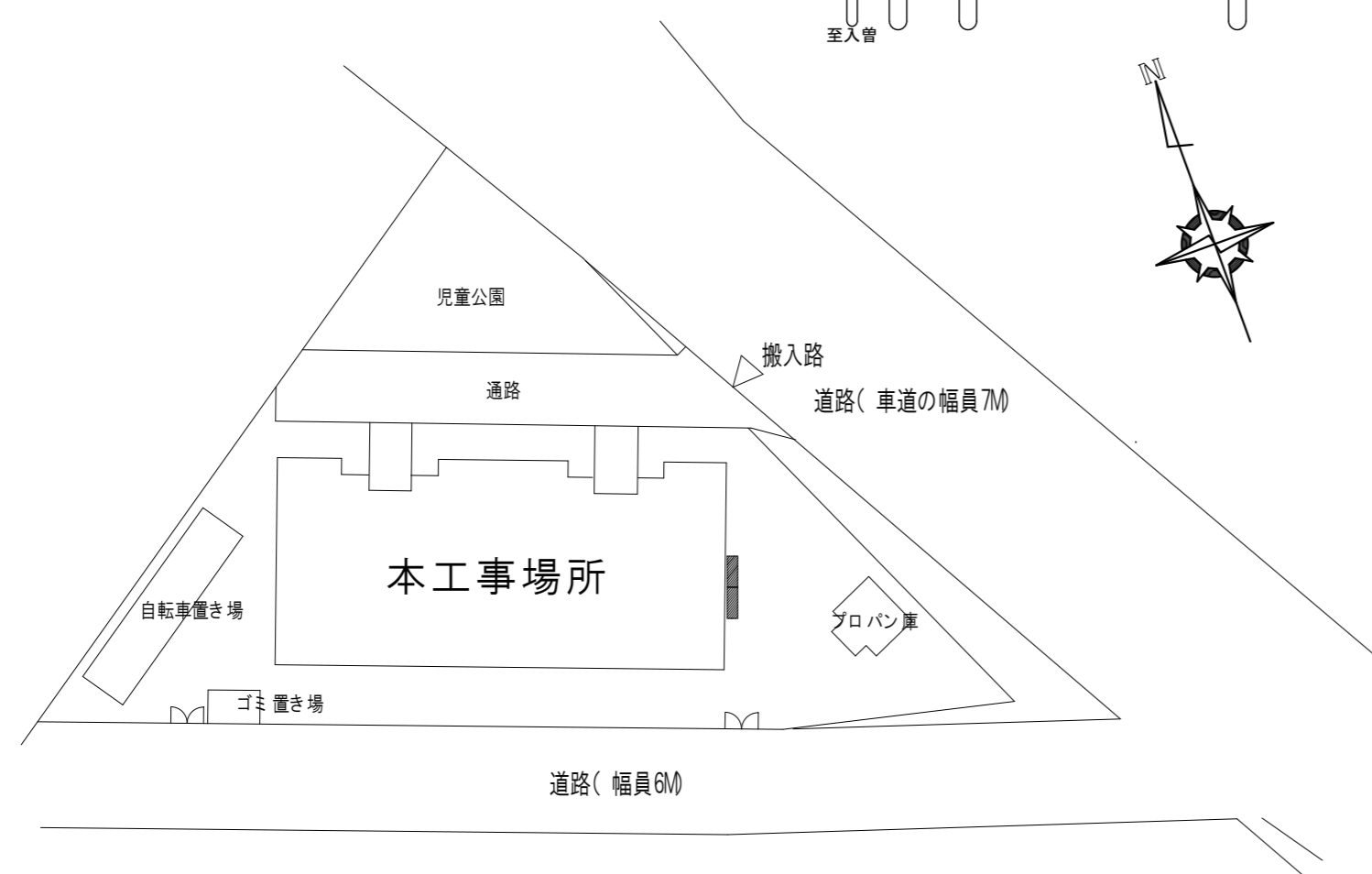


# 狭山市市営住宅霞野団地屋上防水等改修工事



【案内図】



【配置図】

## 【図面リスト】

No	図面名称	縮尺
A-01	表紙・図面リスト・案内図・配置図及び仮設図・仕上表	N.S
A-02	特記仕様書（改修工事）（1）	N.S
A-03	特記仕様書（改修工事）（2）	N.S
A-04	特記仕様書（改修工事）（3）	N.S
A-05	仮設計画図（参考）	S=1：200
A-06	屋根伏せ図・断面詳細図・仕上表	S=1：100・S=1：30・S=1：20・S=1：10
A-07	各階平面図・立面図・断面図・トイレ改修図	S=1：200・S=1：100・S=1：50・S=1：30
M-01	機械設備特記仕様書（1）	N.S
M-02	機械設備特記仕様書（2）	N.S
M-03	機器リスト	N.S
M-04	配置図	S=1：100
M-05	1階給排水平面図（改修）	S=1：50
M-06	2，3階給排水平面図（改修）	S=1：50
M-07	1階給排水平面図（既存）	S=1：50
M-08	2，3階給排水平面図（既存）	S=1：50



⑦ 合成高分子系 ルーフィングシート 防水	粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による 脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定による ・種類( )、設置数量( )個/㎡ 押え金物 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度				10 とい	といその他の材種等 ※配管用鋼管・硬質ポリ塩化ビニル管・ルーフトレン ルーフトレンの種別その他 種別 ・ろく展損用(・縦型・横型) ・100mm以上・50mm以上 ・バルコニー用 ・100mm以上・50mm以上 ・バルコニー中継用 ・100mm以上・50mm以上
	防水層の種類 [3.5.2~4][表3.5.1~3]				11 アルミニウム製笠木	
	高日射反射率防水の適用 [G] ※適用する ・適用しない ・S-M2で立上り面を接着工法とする場合 立上り面のシート厚(※1.5mm) ・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム(・設置する ・設置しない)				⑫ 防水工施工工票 [2.1.2]	
	屋内防水 防水層の種類				4章・5章 工事対象外のため省略	
	① 改修範囲				① 改修範囲	
	② 既存床の撤去及び 下地補修				② 既存床の撤去及び 下地補修	
	③ 既存壁の撤去及び 下地補修				③ 既存壁の撤去及び 下地補修	
	④ 木下地等の表面 仕上げ				④ 木下地等の表面 仕上げ	
	⑤ 塗膜防水				⑤ 塗膜防水	
	⑥ 内装改修工事				⑥ 内装改修工事	

① 改修範囲						
② 既存床の撤去及び 下地補修						
③ 既存壁の撤去及び 下地補修						
④ 木下地等の表面 仕上げ						
⑤ 塗膜防水						
⑥ 内装改修工事						

⑦ 合成高分子系 ルーフィングシート 防水						
⑧ 接合具等						

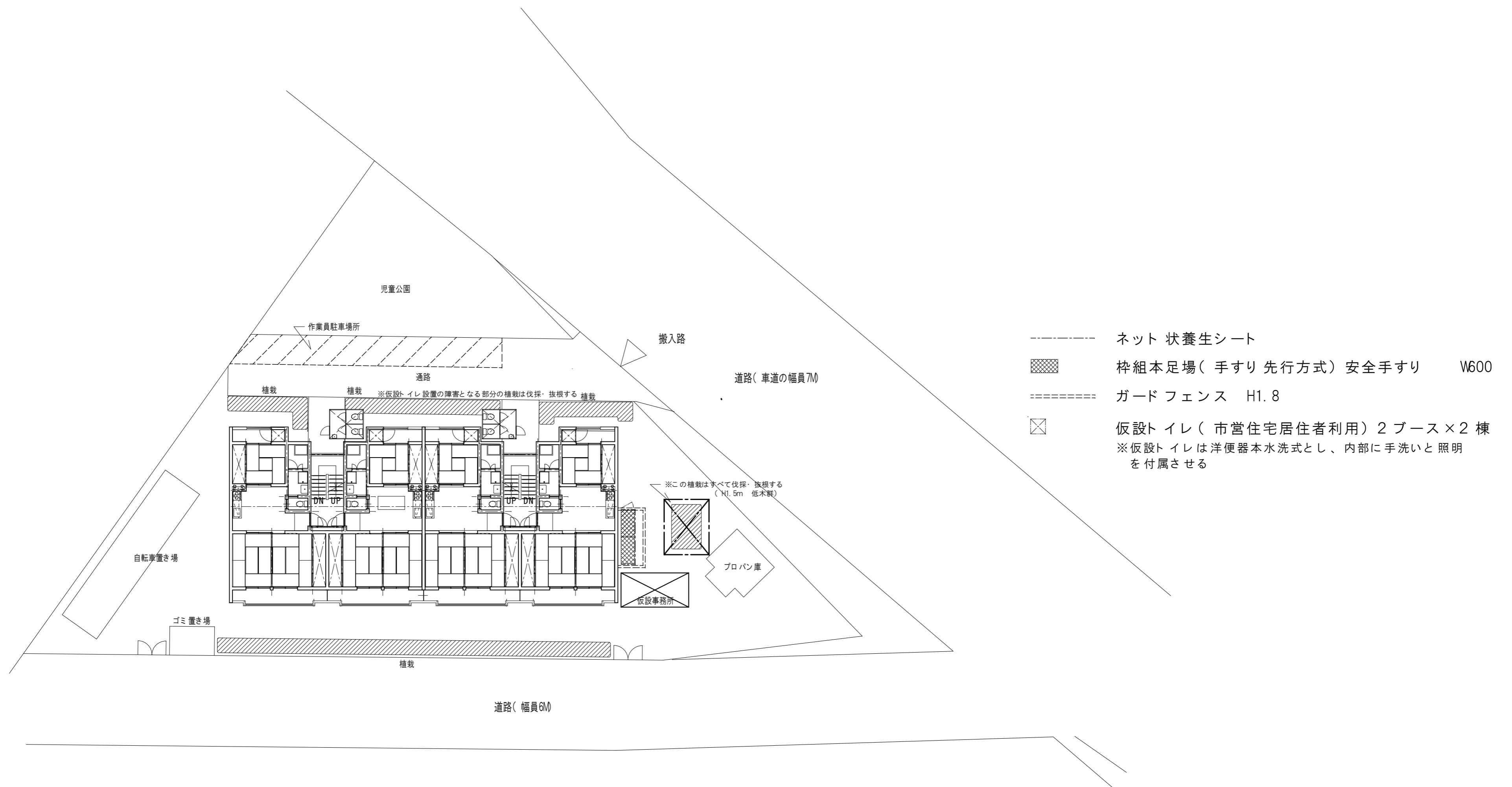
10 防腐・防蟻・防虫処理				・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位：( ) ・薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理 適用部位：( ) ・薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理 適用部位：( ) ・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理 適用部位：( ) ・各板等の加圧注入による防腐、防蟻処理 適用部位：( ) 防虫処理 ・適用する ・適用しない RC造等の内部間仕切組組 ※杉又は松 床組 ※杉又は松 窓、出入口その他 吊り天井、水掛りの下枠及び敷居 ※ひのき 緑甲板及び上りがりがまち ※ひのき 壁及び天井下地 ※杉又は松
11 内部間仕切、窓、床 等の木材				RC造等の内部間仕切組組 ※杉又は松 床組 ※杉又は松 窓、出入口その他 吊り天井、水掛りの下枠及び敷居 ※ひのき 緑甲板及び上りがりがまち ※ひのき 壁及び天井下地 ※杉又は松
12 重量鉄骨天井下地				緑縁等の種類 屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形) 屋外の軒天井、ヒロロティ天井等 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 野縁、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 周辺部の端からの間隔 ・図示 野縁の間隔 ○図示 既存の埋込みインサート ○使用する ・使用しない あと施工アンカーの確認試験 ○行う(試験面数：3) 確認強度：200N) ・行わない ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井のふとところφ1.5m以上3.0m以下の場合の補強方法 ※[6.6.4](8)(7)(4)による ・天井のふとところφ3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示
13 重量鉄骨壁下地				スタッド、ランナーの種類 ※[表6.7.1]により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類 スタッドの高さが5mmを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4](5)(7)(4)による
⑬ ビニル床シート [G]				接着剤 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 セメント系及び木質系下地以外の場合( )
15 ビニル床タイル [G]				接着剤 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 セメント系及び木質系下地以外の場合( )
16 特殊機能床材				目地処理する場合の工法 ※熱溶接工法
17 ビニル幅木				材質 ○軟質 ・硬質 高さ(mm) ※60 ・75 ○100 厚さ(mm) ※1.5以上
18 ゴム床タイル				接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 セメント系及び木質系下地以外の場合( ) 種類 ( ) 色柄 ( ) 厚さ(mm) ( ) 寸法(mm) ( )
19 カーベツト敷き				・織じゅうたん 品質 織り方及びバイル形状 ( ) 色柄、バイル系の種類 ( ) 種別 ・A類 ・B類 ・C類 帯電性 ・適用する ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm ・タフテッドカーベツト バイル形状 呼び長さ(mm) 工法 帯電性 備考 ・カットバイル ・ ※全面接着工法 ・適用する( ) ・ループバイル ・ ※グリッパー工法 ・適用しない ・カット、ループ併用 ・
9 シーリング				下敷き材(グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm ・ニードルパンチカーベツト 厚さ(mm) ( ) 帯電性 ・適用する(性能：※人体帯電圧3kV以下) ( ) ・適用しない 備考 ( ) ・タイルカーベツト バイル形状 種別 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) 備考 ※ループバイル ※第一種 ( ) ※500×500 ※6.5 ・カッタバイル ・第一種 ( ) ※500×500 ※6.5 ・カッタバイル ・第二種 ( ) ※500×500 ※6.5 ・カッタバイル ・第一種 ( ) ※500×500 ※6.5 ・カッタバイル ・第二種 ( ) ※500×500 ※6.5 タイルカーベツトの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し 階段部分 ※模様流し ・市松敷き 見切り、押え金物 ・適用する(材質、形状等) ※図示 ・適用しない

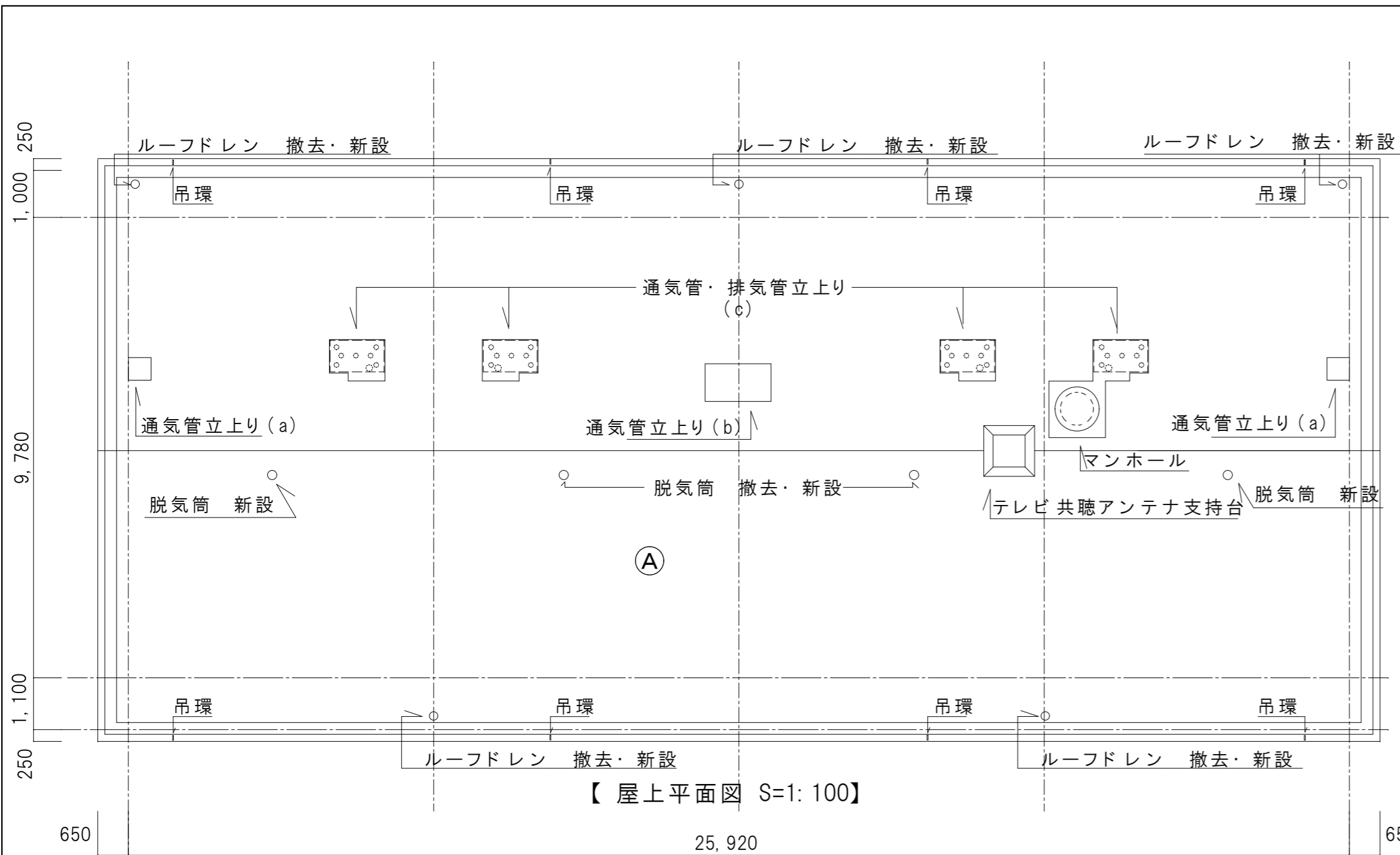
20 合成樹脂塗床	塗料のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外	[6.10.2、3]																																							
	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 (弾性付樹脂系塗床)</td> <td></td> <td>・薄膜流しのべ工法</td> <td>※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 (非樹脂系塗床)</td> <td></td> <td>・厚膜流しのべ工法</td> <td>・平滑仕上げ ・防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材 (非樹脂系塗床)</td> <td></td> <td>・樹脂めり工法</td> <td>・平滑仕上げ ○防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・70μ樹脂塗床 (防塵塗料塗床)</td> <td></td> <td>※製造所の指定による</td> <td>表面仕上げ ※平滑 溶剤 ※水性</td> </tr> </table>	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材 (弾性付樹脂系塗床)		・薄膜流しのべ工法	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 (非樹脂系塗床)		・厚膜流しのべ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	・薄膜型塗床材 (非樹脂系塗床)		・樹脂めり工法	・平滑仕上げ ○防滑仕上げ	・70μ樹脂塗床 (防塵塗料塗床)		※製造所の指定による	表面仕上げ ※平滑 溶剤 ※水性																				
種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																																						
・厚膜型塗床材 (弾性付樹脂系塗床)		・薄膜流しのべ工法	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ																																						
・厚膜型塗床材 (非樹脂系塗床)		・厚膜流しのべ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ																																						
・薄膜型塗床材 (非樹脂系塗床)		・樹脂めり工法	・平滑仕上げ ○防滑仕上げ																																						
・70μ樹脂塗床 (防塵塗料塗床)		※製造所の指定による	表面仕上げ ※平滑 溶剤 ※水性																																						
21 フローリング張り	フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外	[6.11.2~6]																																							
	<p>単層フローリング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フローリングボード1等</li> <li>工法 <ul style="list-style-type: none"> <li>釘止め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法</li> </ul> </li> <li>樹種 ※ラ</li> <li>厚さ、大きさ ※[表6.11.1]による</li> <li>仕上げ塗装 ・塗装品 ・無塗装品</li> <li>間伐材等の適用 ・する ・しない</li> </ul> <p>フローリングブロック1等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工法 <ul style="list-style-type: none"> <li>※接着工法</li> </ul> </li> <li>樹種 ※図示</li> <li>厚さ、大きさ ※図示</li> <li>仕上げ塗装 ・塗装品 ・無塗装品</li> <li>間伐材等の適用 ・する ・しない</li> </ul> <p>複合フローリング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>天然木化粧複合フローリング</li> <li>工法 <ul style="list-style-type: none"> <li>釘止め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法</li> </ul> </li> <li>樹種 ※ラ</li> <li>種類[表6.11.2、4、6] ・A種 ・B種 ・C種</li> <li>仕上げ塗装 ・塗装品 ・無塗装品</li> <li>間伐材等の適用 ・する ・しない</li> </ul> <p>接着工法の場合の表面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂フニス塗り</li> <li>オイルステインの上ワックス塗り</li> <li>生地のままワックス塗り</li> </ul>																																								
22 畳敷き	種別	[6.12]																																							
	<p>種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床) ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)</p> <p>下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.11による床組</p> <p>・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム)</p>																																								
23 せっこうボード その他ボード及び 合板張り	畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。	[6.13.2、3]																																							
	<p>適用は以下によるほか図示による。</p> <p>合板類、MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外</p> <p>木質系セメント板</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> <tr> <td>・硬質木毛セメント板</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・中質木毛セメント板</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・普通木毛セメント板</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板</td> <td>・12 ・15 ・18 ・21</td> </tr> <tr> <td>・普通木片セメント板</td> <td>・30</td> </tr> </table> <p>合板、化粧板</p> <p>○普通合板</p> <table border="1"> <tr> <th>表面の材質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度 (・1類 ・2類)</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>化粧板の樹種名 ( ) 厚さ (mm) ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類) ・防虫処理</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 (・オーベルイ ・アソリ ・塗装) 表面性能 ( ) タイプ 厚さ (mm) ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類) ・防虫処理</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂化粧板</td> <td>JIS K 6903による厚さ (※1.2 )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ポリエステル樹脂化粧板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>パーティクルボード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単板張りパーティクルボード <ul style="list-style-type: none"> <li>無研磨板 VN ・研磨板 VS</li> <li>10 ・12 ・15 ・18</li> </ul> </li> <li>化粧パーティクルボード <ul style="list-style-type: none"> <li>単板オーベルイ DV ・アソリオーベルイ D0</li> <li>塗装 DC</li> <li>10 (難燃) ・12 (難燃)</li> </ul> </li> </ul> <p>吸音材料</p> <p>○ロックウール化粧吸音板</p> <p>○フラットタイプ (○9(不燃) ・12(不燃) ) ・凹凸タイプ (・12(不燃) ・15(不燃) )</p> <p>・ロックウール吸音ボード1号 ・25</p> <p>・グラスウール吸音ボード32K ・25 (ガラスクロス包)</p> <p>・せっこうボード ・12.5 (不燃) ・15 (不燃)</p> <p>・不燃積層せっこうボード 9.5 (不燃) ・化粧無 (下地張り用) ・化粧有 (トラバーチン模様)</p> <p>○シーリングせっこうボード 12.5 (※不燃 ・準不燃)</p> <p>○強化せっこうボード ・12.5 (不燃) ・15 (不燃) ○21 (不燃)</p> <p>○せっこうラスボード</p> <p>・化粧せっこうボード(木目) 12.5 (不燃) 幅440mm程度 模様 (・柱目 ・板目) 専用下地材有り</p> <p>○化粧せっこうボード (トラバーチン模様) 9.5 (準不燃)</p> <p>繊維強化セメント板</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>タイプ</th> <th>幅(無石綿)</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td>・けい酸カルシウム板</td> <td>タイプ2(無石綿)</td> <td>・6</td> <td>・8</td> </tr> </table>	種別	厚さ (mm)、規格等	・硬質木毛セメント板	・15 ・20 ・25	・中質木毛セメント板	・15 ・20 ・25	・普通木毛セメント板	・15 ・20 ・25	・硬質木片セメント板	・12 ・15 ・18 ・21	・普通木片セメント板	・30	表面の材質	厚さ (mm)	接着の程度 (・1類 ・2類)	防虫処理	・天然木化粧合板	化粧板の樹種名 ( ) 厚さ (mm) ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類) ・防虫処理			・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (・オーベルイ ・アソリ ・塗装) 表面性能 ( ) タイプ 厚さ (mm) ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類) ・防虫処理			・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による厚さ (※1.2 )			・ポリエステル樹脂化粧板				種類	タイプ	幅(無石綿)	厚さ	・けい酸カルシウム板	タイプ2(無石綿)	・6	・8
種別	厚さ (mm)、規格等																																								
・硬質木毛セメント板	・15 ・20 ・25																																								
・中質木毛セメント板	・15 ・20 ・25																																								
・普通木毛セメント板	・15 ・20 ・25																																								
・硬質木片セメント板	・12 ・15 ・18 ・21																																								
・普通木片セメント板	・30																																								
表面の材質	厚さ (mm)	接着の程度 (・1類 ・2類)	防虫処理																																						
・天然木化粧合板	化粧板の樹種名 ( ) 厚さ (mm) ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類) ・防虫処理																																								
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (・オーベルイ ・アソリ ・塗装) 表面性能 ( ) タイプ 厚さ (mm) ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類) ・防虫処理																																								
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による厚さ (※1.2 )																																								
・ポリエステル樹脂化粧板																																									
種類	タイプ	幅(無石綿)	厚さ																																						
・けい酸カルシウム板	タイプ2(無石綿)	・6	・8																																						

24 壁紙張り	繊維板	[6.14.2、3]																																																																																							
	<p>・ハードボード (素地)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未研磨板 (・スガド ・テンボド) RN</li> <li>・研磨板 (・スガド ・テンボド) RS</li> </ul> <p>・ハードボード (化粧)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内装用 D1 ・外装用 DE</li> <li>・2.5 ・3.5 ・5 ・7</li> </ul> <p>・ミディアムデンシファイバーボード (MDF)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3 ・7 ・9 ・12</li> </ul> <p>・インシュレーションボード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A級 (・天井仕上 ・内装仕上 )</li> <li>・9 ・12 ・15 ・18</li> </ul> <p>せっこうボード等の下地 ※図示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遮音シール材 ・適用する (・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド)</li> <li>・適用しない</li> </ul> <p>合板類の張付け A種 ※B種</p> <p>せっこうボードの目地工法 ・仕上表による</p> <p>壁紙のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>紙</th> <th>織物</th> <th>強化繊維</th> <th>無機質</th> <th>その他</th> <th>防火種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル・プラスター面の下地調整 ※RB種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート面の下地調整 ※RB種</li> <li>せっこうボード面の下地調整 ※RB種</li> </ul> <p>モルタル ・現場調査材料 ・既調査材料 ( ) [6.15.3、5、6]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既製目地材 施工箇所 ( ) 形状 (※図示 )</li> <li>・壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理</li> <li>・床目地 目地割り ※2m程度(最大目地間隔3m程度) ・種類 ※押し目地</li> </ul> <p>伸縮調整目地の位置 [6.16.2~4]</p> <p>床タイル (※縦、横とも4m以内ごと ・図示 )</p> <p>床タイル以外 (・図示 )</p> <p>セメントモルタルによるタイル張り</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>再生材の製造</th> <th>耐水性</th> <th>耐滑</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>Ⅰ種</td> <td>Ⅱ種</td> <td>Ⅲ種</td> <td>Ⅳ種</td> <td>Ⅴ種</td> <td>Ⅵ種</td> <td>Ⅶ種</td> <td>Ⅷ種</td> <td>Ⅷ種</td> <td>Ⅷ種</td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>試験張り ・行う ・行わない</p> <p>見本焼き ・行う ・行わない</p> <p>モルタル塗りのコンクリート素地の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・MOR工法 ・目荒し工法 (高圧水洗処理)</li> </ul> <p>壁タイル張りの工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り</li> <li>・内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り</li> </ul> <p>・既調査モルタル</p> <p>モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <p>接着剤による陶磁器質タイル張り</p> <p>タイルの形状・寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>再生材の製造</th> <th>耐水性</th> <th>耐滑</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>Ⅰ種</td> <td>Ⅱ種</td> <td>Ⅲ種</td> <td>Ⅳ種</td> <td>Ⅴ種</td> <td>Ⅵ種</td> <td>Ⅶ種</td> <td>Ⅷ種</td> <td>Ⅷ種</td> <td>Ⅷ種</td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>試験張り ・行う ・行わない</p> <p>見本焼き ・行う ・行わない</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モルタル塗りをを行うコンクリート素地の処理</li> <li>・MOR工法 ・目荒し工法 (高圧水洗処理)</li> </ul> <p>目地のシーリング材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材</li> <li>ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材</li> <li>伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材</li> <li>その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材</li> </ul> <p>種類及び品質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○せっこう系</li> <li>○セメント系</li> </ul> <p>標準塗厚 (mm) ○10mm</p>	施工箇所	紙	織物	強化繊維	無機質	その他	防火種別	備考	・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃		・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃		・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃		・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃		・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃		施工箇所	形状寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の製造	耐水性	耐滑	備考	Ⅰ種	Ⅱ種	Ⅲ種	Ⅳ種	Ⅴ種	Ⅵ種	Ⅶ種	Ⅷ種	Ⅷ種	Ⅷ種	施工箇所	形状寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の製造	耐水性	耐滑	備考	Ⅰ種	Ⅱ種	Ⅲ種	Ⅳ種	Ⅴ種	Ⅵ種	Ⅶ種	Ⅷ種	Ⅷ種	Ⅷ種
施工箇所	紙	織物	強化繊維	無機質	その他	防火種別	備考																																																																																		
・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																																																																			
・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																																																																			
・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																																																																			
・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																																																																			
・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																																																																			
施工箇所	形状寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の製造	耐水性	耐滑	備考																																																																																
Ⅰ種	Ⅱ種	Ⅲ種	Ⅳ種	Ⅴ種	Ⅵ種	Ⅶ種	Ⅷ種	Ⅷ種	Ⅷ種																																																																																
施工箇所	形状寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の製造	耐水性	耐滑	備考																																																																																
Ⅰ種	Ⅱ種	Ⅲ種	Ⅳ種	Ⅴ種	Ⅵ種	Ⅶ種	Ⅷ種	Ⅷ種	Ⅷ種																																																																																
27 セルフレベリング材 塗り	フリーアクセスフロア	[6.17.2、3]																																																																																							
	<p>フリーアクセスフロア及び表面仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重 (kg)</th> <th>表面仕上げ材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・置敷式 ・支柱 ・調整式</td> <td rowspan="2">・500×500</td> <td rowspan="2">・1.0G</td> <td rowspan="2">・3.000</td> <td rowspan="2">・0.6G</td> <td rowspan="2">・5.000</td> <td rowspan="2">・帯電防止床タイプ</td> <td rowspan="2">・4種</td> </tr> <tr> <td>・調整式</td> <td>・調整式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・置敷式 ・支柱 ・調整式</td> <td rowspan="2">・500×500</td> <td rowspan="2">・1.0G</td> <td rowspan="2">・3.000</td> <td rowspan="2">・0.6G</td> <td rowspan="2">・5.000</td> <td rowspan="2">・帯電防止床タイプ</td> <td rowspan="2">・4種</td> </tr> <tr> <td>・調整式</td> <td>・調整式</td> </tr> </table> <p>フリーアクセスフロアフロアの試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書20.2.2(2)(f)(a)~(d)による</li> </ul> <p>寸法精度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書20.2.2(2)(f)(a)~(c)による</li> </ul> <p>※工法及び上記以外はフリーアクセスフロアの製造所の仕様による</p> <p>○2.0</p> <p>パネル材のホルムアルデヒド放射量 ※規制対象外</p> <table border="1"> <tr> <th>構成形式</th> <th>構成基材の種類</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>表面仕上材</th> <th>遮音性 (dB)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式 (内蔵)</td> <td>・パネル</td> <td>・0.6</td> <td>・鋼板</td> <td>・0</td> <td>・不燃</td> </tr> <tr> <td>・スタッド式 (露出)</td> <td>・パネル</td> <td>・0.8</td> <td>・メラミン樹脂</td> <td>・12</td> <td>・不燃</td> </tr> <tr> <td>・パネル式</td> <td>・パネル</td> <td>・0.8</td> <td>・メラミン樹脂</td> <td>・28</td> <td>・不燃</td> </tr> <tr> <td>・スタッドパネル式</td> <td>・パネル</td> <td>・0.8</td> <td>・メラミン樹脂</td> <td>・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具 ・あり (※図示 ) ・なし</p> <p>ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落しは、標準仕様書 16章 8節 の建具用金物に対応する材質とする</p> <p>表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。</p>	施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重 (kg)	表面仕上げ材	備考	・置敷式 ・支柱 ・調整式	・500×500	・1.0G	・3.000	・0.6G	・5.000	・帯電防止床タイプ	・4種	・調整式	・調整式	・置敷式 ・支柱 ・調整式	・500×500	・1.0G	・3.000	・0.6G	・5.000	・帯電防止床タイプ	・4種	・調整式	・調整式	構成形式	構成基材の種類	総厚さ (mm)	表面仕上材	遮音性 (dB)	防火性能	・スタッド式 (内蔵)	・パネル	・0.6	・鋼板	・0	・不燃	・スタッド式 (露出)	・パネル	・0.8	・メラミン樹脂	・12	・不燃	・パネル式	・パネル	・0.8	・メラミン樹脂	・28	・不燃	・スタッドパネル式	・パネル	・0.8	・メラミン樹脂	・36	・不燃																														
施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重 (kg)	表面仕上げ材	備考																																																																																		
・置敷式 ・支柱 ・調整式	・500×500	・1.0G	・3.000	・0.6G	・5.000	・帯電防止床タイプ	・4種																																																																																		
								・調整式	・調整式																																																																																
・置敷式 ・支柱 ・調整式	・500×500	・1.0G	・3.000	・0.6G	・5.000	・帯電防止床タイプ	・4種																																																																																		
								・調整式	・調整式																																																																																
構成形式	構成基材の種類	総厚さ (mm)	表面仕上材	遮音性 (dB)	防火性能																																																																																				
・スタッド式 (内蔵)	・パネル	・0.6	・鋼板	・0	・不燃																																																																																				
・スタッド式 (露出)	・パネル	・0.8	・メラミン樹脂	・12	・不燃																																																																																				
・パネル式	・パネル	・0.8	・メラミン樹脂	・28	・不燃																																																																																				
・スタッドパネル式	・パネル	・0.8	・メラミン樹脂	・36	・不燃																																																																																				

30 移動間仕切	構造形式	[2.4]																																																																																																																	
	<p>・平行方向移動式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手動式</li> <li>・電動式</li> <li>・部分電動式</li> </ul> <p>・二方向移動式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手動式</li> <li>・電動式</li> <li>・部分電動式</li> </ul> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。</p> <p>遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。</p> <p>ハンガーレールの取付け下地の補強</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。</li> <li>・図示</li> </ul> <p>パネル材のホルムアルデヒド放射量 ※規制対象外</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の種類</th> <th>脚部形状</th> <th>ドアエッジの材質</th> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板</td> <td>※幅木タイプ</td> <td>・アルミニウム製</td> </tr> <tr> <td>・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>・</td> <td>・ステンレス製</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・表面材と同材</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・製造所の標準仕様</td> </tr> </table> <p>材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステンレス製</li> <li>・アルミニウム製押出型材</li> </ul> <p>滑り止め材 形状 ・ひも型 ・タイヤ型</p> <p>材質 ・ゴム ・合成樹脂</p> <p>取付け方法 ※接着工法 ・埋め込み工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幅 mm 端部フラットエンド ・あり ・なし</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・集成材</td> <td>・リブ加工</td> <td>・35 ・45</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ステンレスパイプ</td> <td>・HL ○樹脂被覆</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鋼製パイプ</td> <td>・EP-G ・SOP</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビニル製ハンドレール</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・黒板 区分 ※焼き付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種類 ・ほうろう ・鋼製</li> <li>色 ※緑</li> <li>・ホワイトボード ( )</li> </ul> <p>・衝突防止表示</p> <p>形状 (※丸形 ・図示 )</p> <p>寸法 (※300 ( ) )</p> <p>材質 ( ・ステンレス製 )</p> <p>・誘導標識、非常用出入口等の表示 ※消防法に適合する市販品</p> <p>案内用図記号はJIS Z 8210による。</p> <p>色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。</p> <p>その他の表示 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅 (mm)</th> <th>ギヤ・レールの材質</th> <th>寸法</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・楔形</td> <td>・手動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・楔形</td> <td>・手動</td> <td>※2本操作棒式 ・1本操作棒式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>7&amp;2mm合金製</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・電動</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>スラットの材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アルミスラット 焼付け塗装仕上げ</li> <li>クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工</li> <li>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 ☑ とする</li> </ul> <p>操作方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スプリング式</li> <li>・コード式</li> <li>・電動式</li> </ul> <p>幅、高さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガラス繊維製</li> <li>・合成天然繊維製</li> <li>・木製</li> </ul> <p>材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鋼製</li> </ul> <p>品質等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による</li> </ul>	表面材の種類	脚部形状	ドアエッジの材質	・メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・アルミニウム製	・ポリエステル樹脂系化粧板	・	・ステンレス製			・表面材と同材			・製造所の標準仕様	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考	・集成材	・リブ加工	・35 ・45			○ステンレスパイプ	・HL ○樹脂被覆				・鋼製パイプ	・EP-G ・SOP				・ビニル製ハンドレール					形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)	ギヤ・レールの材質	寸法	取付箇所	・楔形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示		・楔形	・手動	※2本操作棒式 ・1本操作棒式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	7&2mm合金製	・図示			・電動	—																																															
表面材の種類	脚部形状	ドアエッジの材質																																																																																																																	
・メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・アルミニウム製																																																																																																																	
・ポリエステル樹脂系化粧板	・	・ステンレス製																																																																																																																	
		・表面材と同材																																																																																																																	
		・製造所の標準仕様																																																																																																																	
材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考																																																																																																															
・集成材	・リブ加工	・35 ・45																																																																																																																	
○ステンレスパイプ	・HL ○樹脂被覆																																																																																																																		
・鋼製パイプ	・EP-G ・SOP																																																																																																																		
・ビニル製ハンドレール																																																																																																																			
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)	ギヤ・レールの材質	寸法	取付箇所																																																																																																												
・楔形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示																																																																																																													
・楔形	・手動	※2本操作棒式 ・1本操作棒式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	7&2mm合金製	・図示																																																																																																													
	・電動	—																																																																																																																	
37 ロールスクリーン	形式	[2.13]																																																																																																																	
	<p>・シングル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・片引き</li> <li>・手引き</li> <li>・フランスひだ</li> </ul> <p>・ダブル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引分け</li> <li>・ひも引き</li> <li>・箱ひだ、つまひだ</li> <li>・電動</li> <li>・フレンチひだ、片ひだ</li> </ul> <p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、☑ とする</p> <p>暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p> <p>材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材</p> <p>強さによる区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※10-90</li> <li>※アルミ製</li> <li>※アルミタイプ</li> <li>※角形</li> </ul> <p>形状</p> <p>溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示</p> <p>材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集成材 (仕上げ)</li> <li>・アルミニウム製 押し出し型材 (市販品)</li> <li>種類 (標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 ・BC-2種</li> <li>色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )</li> <li>・鋼製 (仕上げ)</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製</td> <td>・450×450</td> <td>・一般形</td> <td>・屋内外用</td> <td>・縦縁タイプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・600×600</td> <td>・一般形</td> <td>・屋内用</td> <td>・目地タイプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・気密形</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>閉閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・450×450</td> <td>・一般形</td> <td>・屋内外用</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・600×600</td> <td>・密閉形</td> <td>・屋内用</td> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td></td> <td></td> <td>・鍵付き</td> </tr> </table> <p>38 カーテン</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種別、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル</td> <td>・手引き</td> <td>・フランスひだ</td> <td></td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ダブル</td> <td>・引分け</td> <td>・箱ひだ、つまひだ</td> <td></td> <td></td> <td>(暗幕)</td> </tr> </table> <p>39 カーテンレール</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・450×450</td> <td>・一般形</td> <td>・屋内外用</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・600×600</td> <td>・密閉形</td> <td>・屋内用</td> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td></td> <td></td> <td>・鍵付き</td> </tr> </table> <p>40 ブラインドボックス 及びカーテンボックス</p> <p>溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示</p> <p>材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集成材 (仕上げ)</li> <li>・アルミニウム製 押し出し型材 (市販品)</li> <li>種類 (標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 ・BC-2種</li> <li>色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( )</li> <li>・鋼製 (仕上げ)</li> </ul> <p>41 天井点検口</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製</td> <td>・450×450</td> <td>・一般形</td> <td>・屋内外用</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・600×600</td> <td>・一般形</td> <td>・屋内用</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・気密形</td> <td></td> </tr> </table> <p>42 床点検口</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・450×450</td> <td>・一般形</td> <td>・屋内外用</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・600×600</td> <td>・密閉形</td> <td>・屋内用</td> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td></td> <td></td> <td>・鍵付き</td> </tr> </table> <p>43 くつふきマット</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製</td> <td>・ステンレス製 (SUS304)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質アルミニウム合金製</td> <td>・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼 (SUS304) 製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材質	寸法	形式	外枠	内枠	※アルミニウム製	・450×450	・一般形	・屋内外用	・縦縁タイプ		・600×600	・一般形	・屋内用	・目地タイプ			・気密形			材質	寸法	形式	備考	・アルミニウム製	・450×450	・一般形	・屋内外用	・ステンレス製	・600×600	・密閉形	・屋内用	・鋼製			・鍵付き	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル	・手引き	・フランスひだ		・図示		・ダブル	・引分け	・箱ひだ、つまひだ			(暗幕)	材質	寸法	形式	備考	・アルミニウム製	・450×450	・一般形	・屋内外用	・ステンレス製	・600×600	・密閉形	・屋内用	・鋼製			・鍵付き	材質	寸法	形式	備考	※アルミニウム製	・450×450	・一般形	・屋内外用		・600×600	・一般形	・屋内用			・気密形		材質	寸法	形式	備考	・アルミニウム製	・450×450	・一般形	・屋内外用	・ステンレス製	・600×600	・密閉形	・屋内用	・鋼製			・鍵付き	材質	受け枠	備考	・塩化ビニル又はゴム製	・ステンレス製 (SUS304)		・硬質アルミニウム合金製	・硬質アルミニウム合金		・ステンレス鋼 (SUS304) 製		
材質	寸法	形式	外枠	内枠																																																																																																															
※アルミニウム製	・450×450	・一般形	・屋内外用	・縦縁タイプ																																																																																																															
	・600×600	・一般形	・屋内用	・目地タイプ																																																																																																															
		・気密形																																																																																																																	
材質	寸法	形式	備考																																																																																																																
・アルミニウム製	・450×450	・一般形	・屋内外用																																																																																																																
・ステンレス製	・600×600	・密閉形	・屋内用																																																																																																																
・鋼製			・鍵付き																																																																																																																
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																														
・シングル	・手引き	・フランスひだ		・図示																																																																																																															
・ダブル	・引分け	・箱ひだ、つまひだ			(暗幕)																																																																																																														
材質	寸法	形式	備考																																																																																																																
・アルミニウム製	・450×450	・一般形	・屋内外用																																																																																																																
・ステンレス製	・600×600	・密閉形	・屋内用																																																																																																																
・鋼製			・鍵付き																																																																																																																
材質	寸法	形式	備考																																																																																																																
※アルミニウム製	・450×450	・一般形	・屋内外用																																																																																																																
	・600×600	・一般形	・屋内用																																																																																																																
		・気密形																																																																																																																	
材質	寸法	形式	備考																																																																																																																
・アルミニウム製	・450×450	・一般形	・屋内外用																																																																																																																
・ステンレス製	・600×600	・密閉形	・屋内用																																																																																																																
・鋼製			・鍵付き																																																																																																																
材質	受け枠	備考																																																																																																																	
・塩化ビニル又はゴム製	・ステンレス製 (SUS304)																																																																																																																		
・硬質アルミニウム合金製	・硬質アルミニウム合金																																																																																																																		
・ステンレス鋼 (SUS304) 製																																																																																																																			

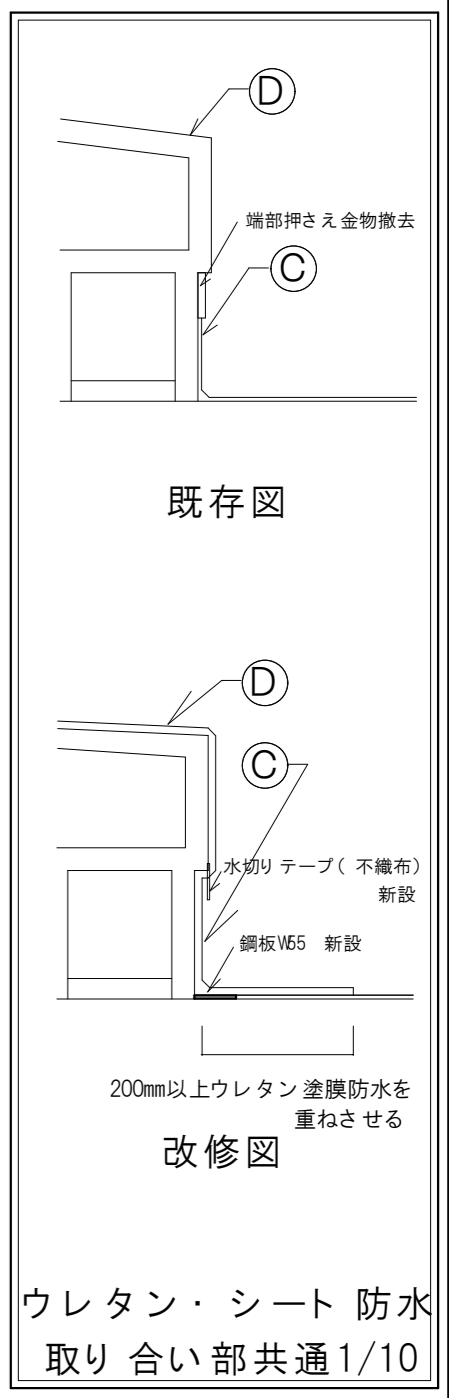
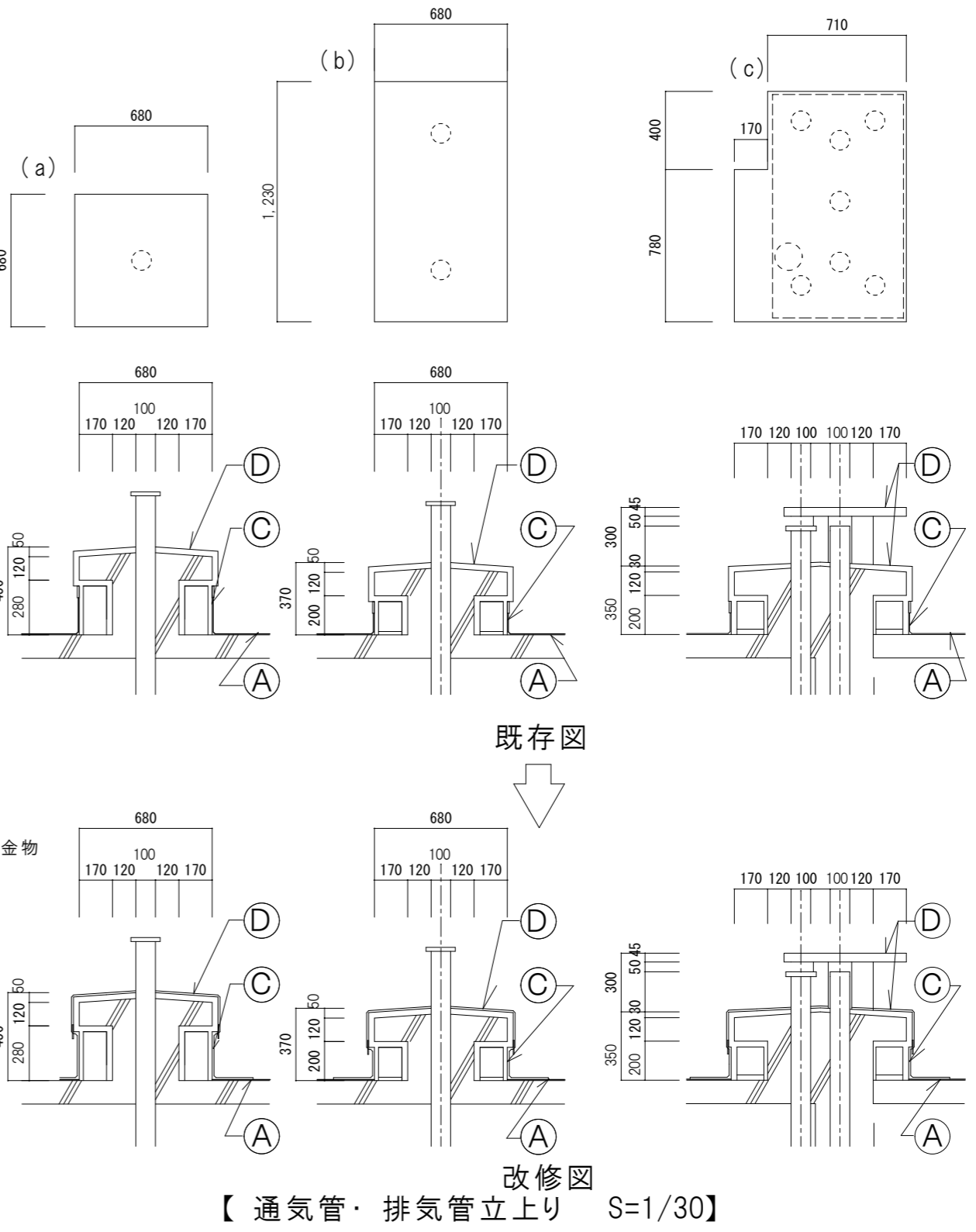
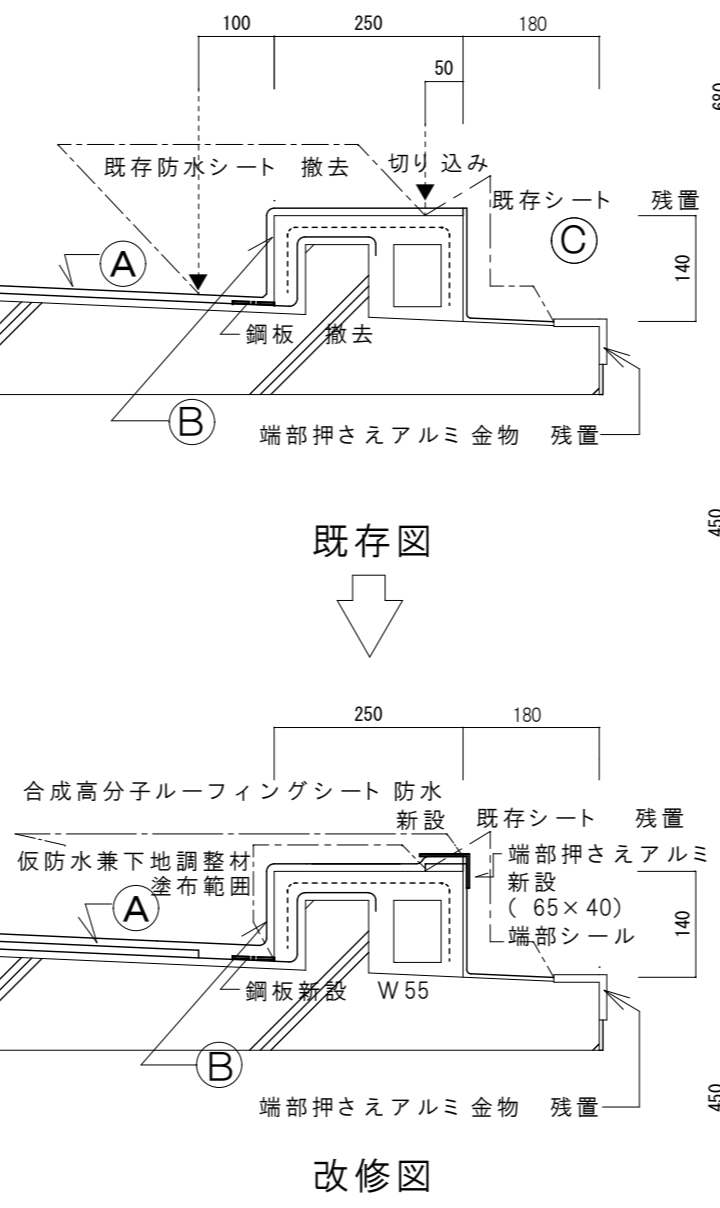
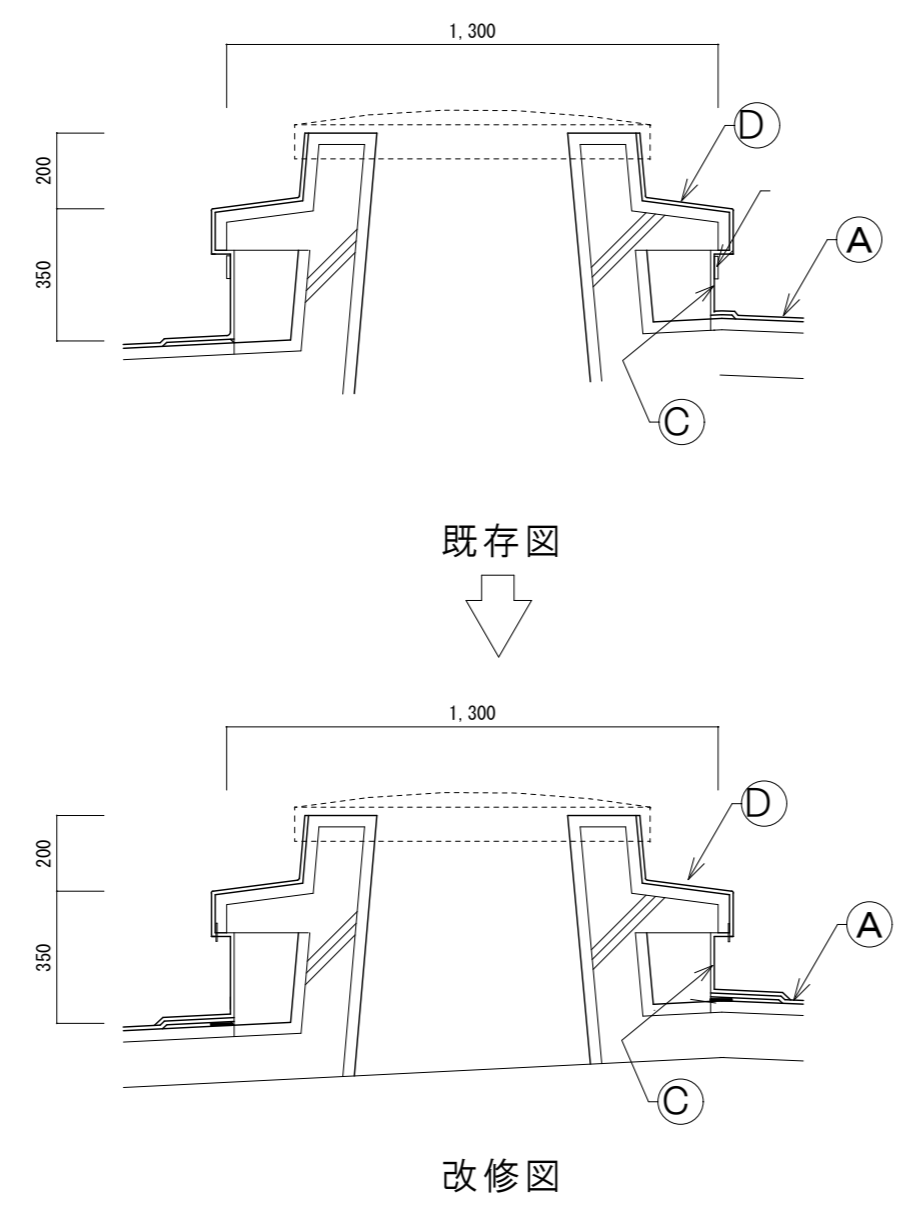
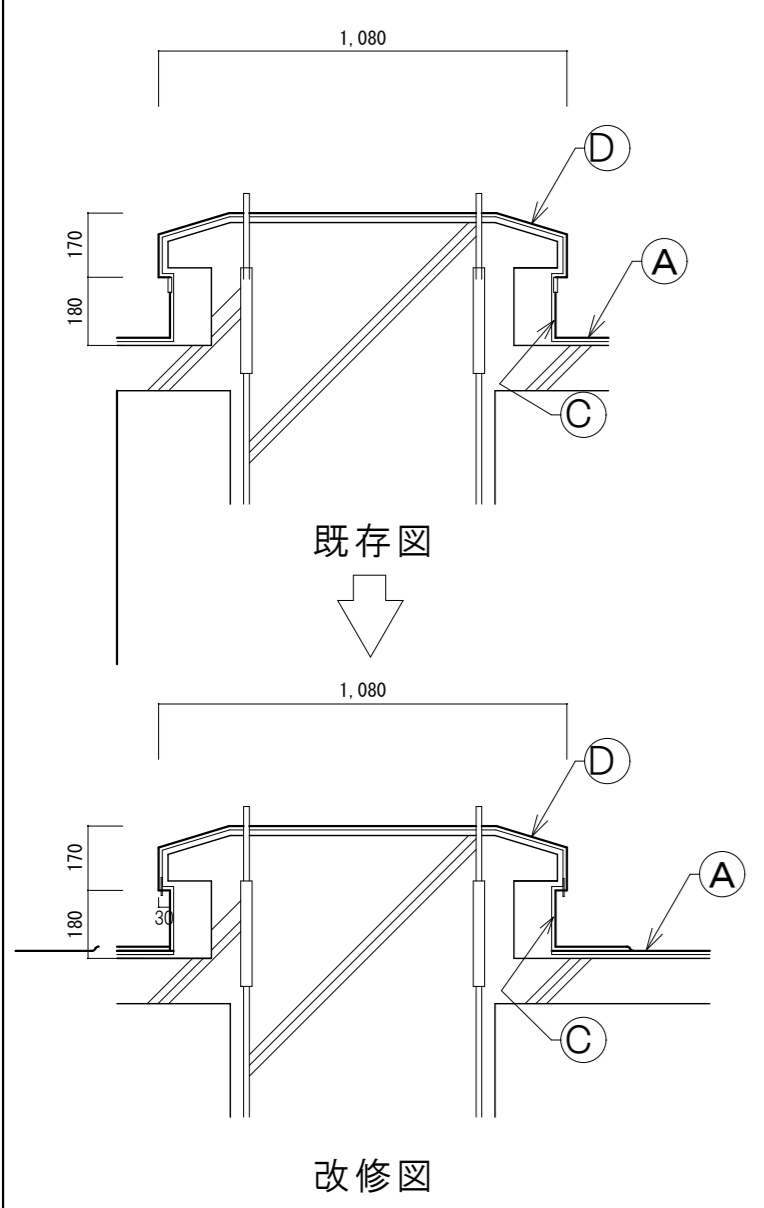
44 流しユニット	材質	[2.5]																																																																																																						
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">材質</th> <th colspan="3">寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>W</th> <th>D</th> <th>H</th> </tr> <tr> <td>・流し台</td> <td>・1200</td> <td>・550</td> <td>・800</td> <td>市販品 ※特注品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1500</td> <td>・600</td> <td>・850</td> <td>トランプ付き</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1800</td> <td>・650</td> <td></td> <td>天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・コンロ台</td> <td>・600</td> <td>・550</td> <td>・620</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・600</td> <td>・670</td> <td>バックガード有り</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・850</td> <td></td> <td>天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・つり戸棚</td> <td>・1200</td> <td>・450</td> <td>・500</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・900</td> <td></td> <td>・700</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水切り</td> <td>・1200</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・900</td> <td></td> <td></td> <td>ステンレス製</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・600</td> <td></td> <td></td> <td>・1段式</td> </tr> </table> <p>品質・性能 JIS A 4420による。</p> <p>形状 ※図示</p> <p>45 鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>・鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </table> <p>46 屋内掲示板</p> <p>枠の材質 ※アルミニウム製</p> <p>表面の材質 ※塩化ビニルシート張り</p> <p>47 洗面カウンター</p> <p>材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メラミン樹脂化粧板張り (芯材:集成材)</li> <li>・人工大理石</li> </ul> <p>奥行 (mm) ・約450 ・約600</p> <p>48 防煙垂れ壁</p> <table border="1"> <tr> <th>固定式</th> <th>材質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※納入り磨板ガラス</td> <td>※6.8</td> <td></td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> <tr> <td>※納入り磨板ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>※不燃布 (不燃認定品)</td> <td>※500</td> <td>ガイドレール</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・800</td> <td>※固定式 (壁埋込型)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・可動式 (天井収納型)</td> </tr> </table> <p>・回転降下式 鋼板製又はアルミ製</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※500</li> <li>・800</li> </ul> <p>表面仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※天井天井張り</li> </ul> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)</p>	材質	寸法 (mm)			備考	W	D	H	・流し台	・1200	・550	・800	市販品 ※特注品		・1500	・600	・850	トランプ付き		・1800	・650		天板ステンレス製	・コンロ台	・600	・550	・620	市販品			・600	・670	バックガード有り			・850		天板ステンレス製	・つり戸棚	・1200	・450	・500	市販品		・900		・700		・水切り	・1200	—	—	市販品		・900			ステンレス製		・600			・1段式	種類	規格等	JISによる種類	・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種 ・2種 ・3種	・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種	固定式	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	※納入り磨板ガラス	※6.8		※500	アルミ製枠付き	※納入り磨板ガラス					種類	材質	高さ (mm)	備考	・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500	ガイドレール			・800	※固定式 (壁埋込型)				・可動式 (天井収納型)
材質	寸法 (mm)			備考																																																																																																				
	W	D	H																																																																																																					
・流し台	・1200	・550	・800	市販品 ※特注品																																																																																																				
	・1500	・600	・850	トランプ付き																																																																																																				
	・1800	・650		天板ステンレス製																																																																																																				
・コンロ台	・600	・550	・620	市販品																																																																																																				
		・600	・670	バックガード有り																																																																																																				
		・850		天板ステンレス製																																																																																																				
・つり戸棚	・1200	・450	・500	市販品																																																																																																				
	・900		・700																																																																																																					
・水切り	・1200	—	—	市販品																																																																																																				
	・900			ステンレス製																																																																																																				
	・600			・1段式																																																																																																				
種類	規格等	JISによる種類																																																																																																						
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種 ・2種 ・3種																																																																																																						
・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種																																																																																																						
固定式	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考																																																																																																				
※納入り磨板ガラス	※6.8		※500	アルミ製枠付き																																																																																																				
※納入り磨板ガラス																																																																																																								
種類	材質	高さ (mm)	備考																																																																																																					
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500	ガイドレール																																																																																																					
		・800	※固定式 (壁埋込型)																																																																																																					
			・可動式 (天井収納型)																																																																																																					
7 塗装改修工事	1 材料	[7.1]																																																																																																						
	<p>② 下地調整</p> <p>④ 塗装</p>																																																																																																							
3 閉止め塗料塗り	② 下地調整	[7.2.1~7]																																																																																																						
	<p>④ 塗装</p>																																																																																																							

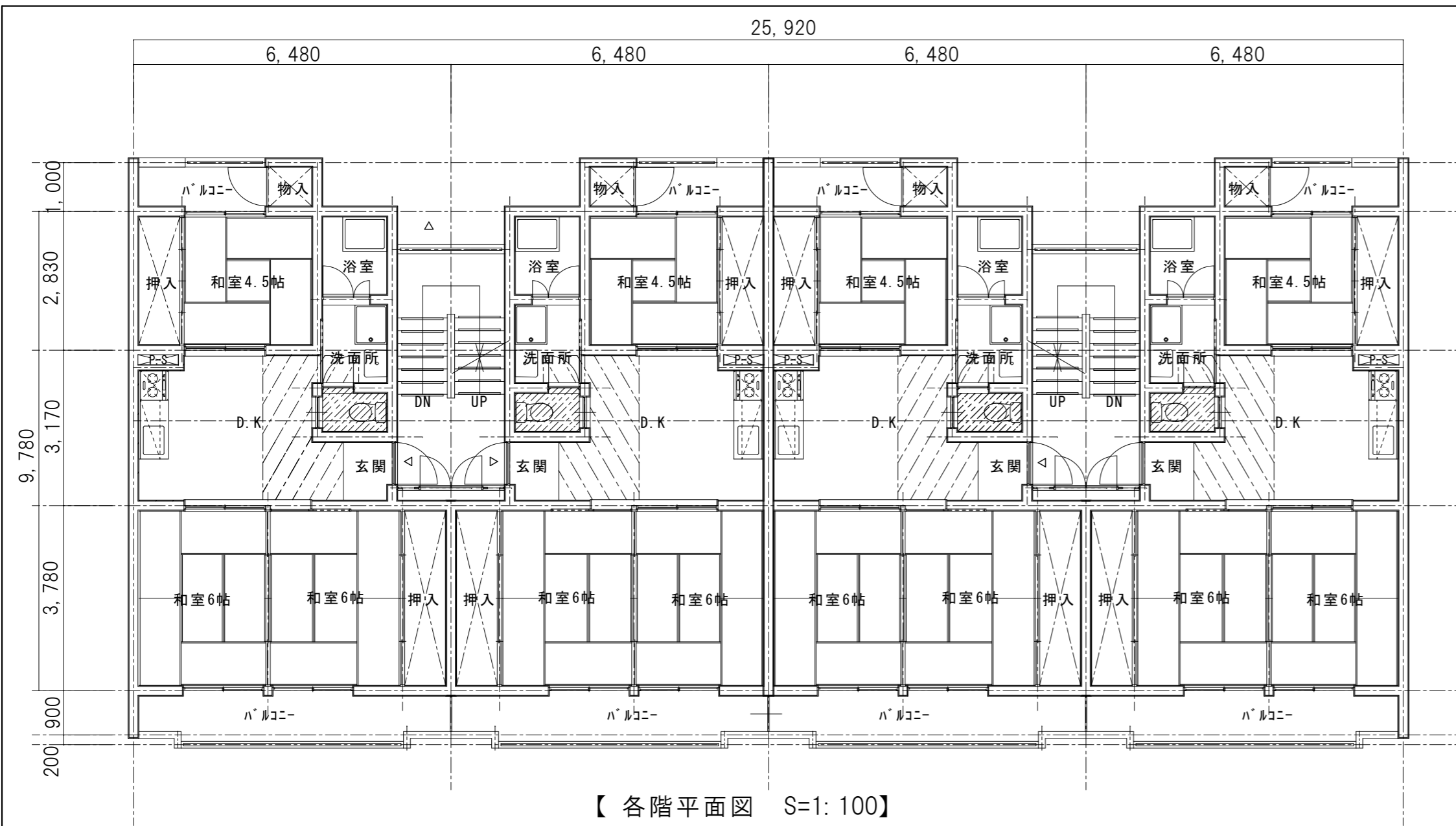




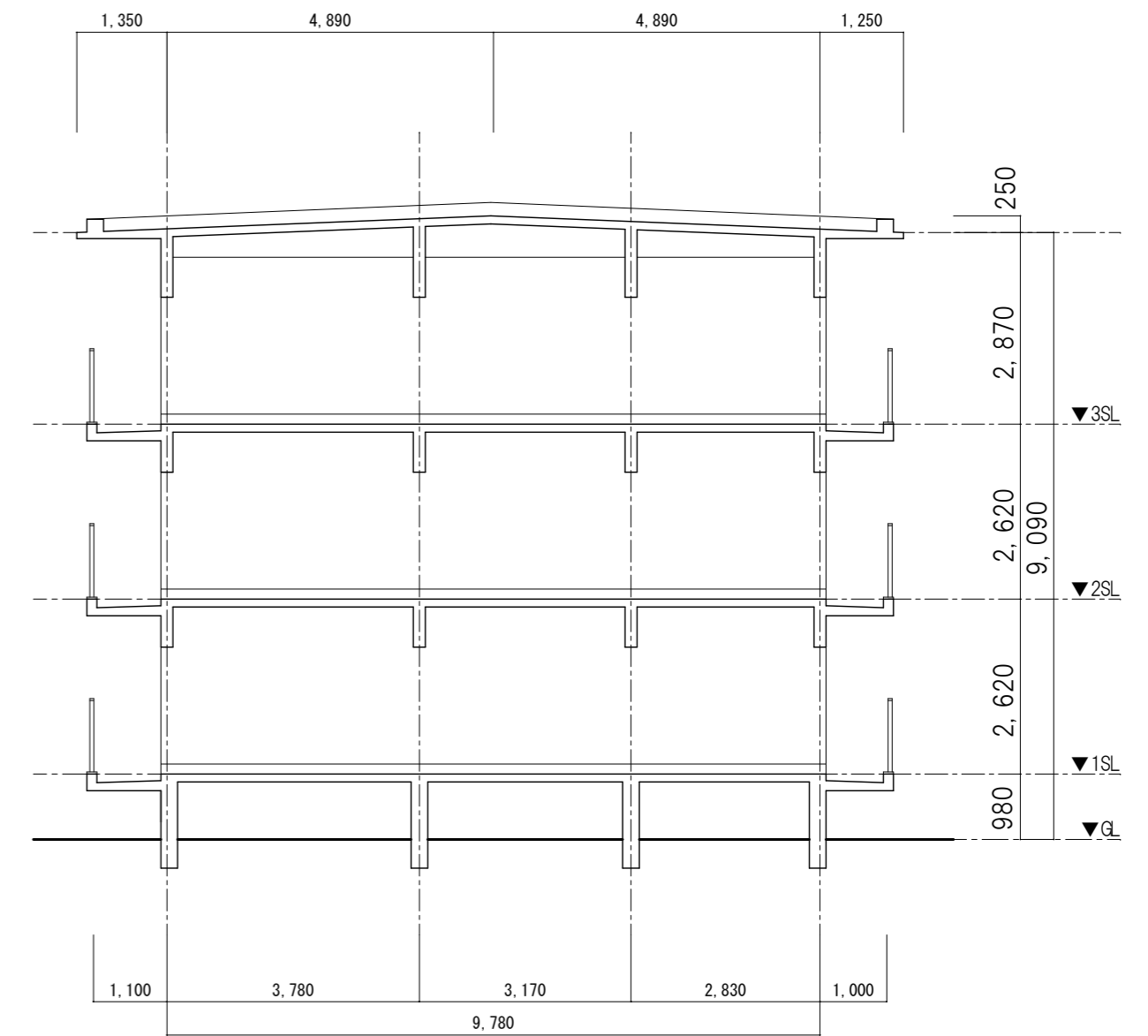
【仕上表】

符号	改修箇所	既存	改修後	
			下地処理	仕上げ
Ⓐ	屋上屋根：平場	【当初】 露出アスファルト 防水(砂付) 【平成8年度改修】 絶縁シート敷込後 塩化ビニル系防水シート t=1.5(S-M2工法)	脱気筒 撤去(3カ所) 清掃 ドレン撤去(5カ所)	合成高分子ルーフィングシート防水 S-M2工法 脱気筒 新設(4カ所) SUS製 端末塩ビ被覆鋼板W55取付 改修用ドレン取付(5ヶ所)
Ⓑ	屋上屋根(軒先部) 平場・立上り	【当初】 露出アスファルト 防水(砂付) 【平成8年度改修】 絶縁シート敷込後 塩化ビニル系防水シート t=1.5(S-M2工法)	既設塩化ビニル系防水シート 撤去 清掃 仮防水兼下地調整材(水和凝固系塗膜防水)塗布	合成高分子ルーフィングシート 防水 S-F2工法 端末押さえ金物 取付L型65×40
Ⓒ	屋上屋根 ・通気配管架台立上り部 ・屋根マンホール立上り等	【当初】 露出アスファルト 防水(砂付) 【平成8年度改修】 既存アスファルト 露出防水撤去	既設合成高分子系ルーフィング 撤去 端部押さえアルミ金物 撤去 清掃 仮防水兼下地調整材(水和凝固系塗膜防水)塗布	ウレタン塗膜防水 X-2工法 取合い部：合成高分子ルーフィングシート 防水に 200mm以上ウレタン塗膜防水を 重ねさせる 水切りテープ新設
Ⓓ	屋上屋根 通気配管・架台等天端 ・給水管配管架台等	【当初】 防水モルタル金鍍押え 【平成8年度改修】 ウレタン塗膜防水 X-2工法	清掃	ウレタン塗膜防水 X-2工法

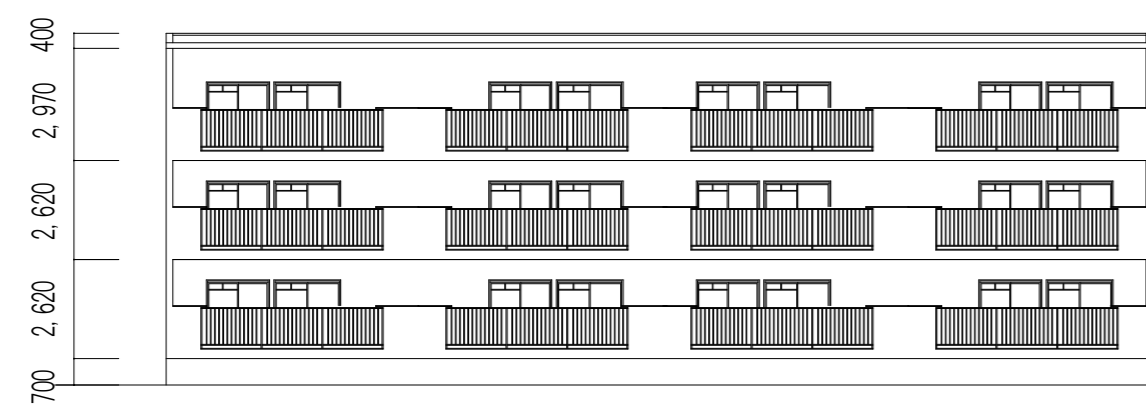




【各階平面図 S=1:100】



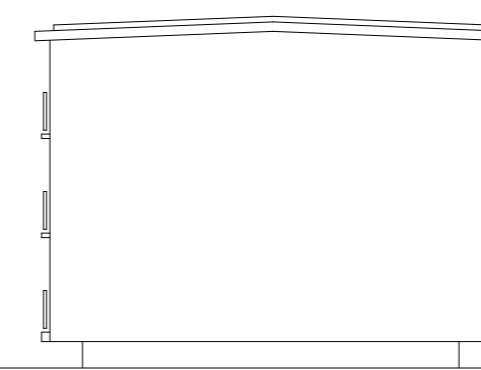
【A~A'断面図 S=1:100】



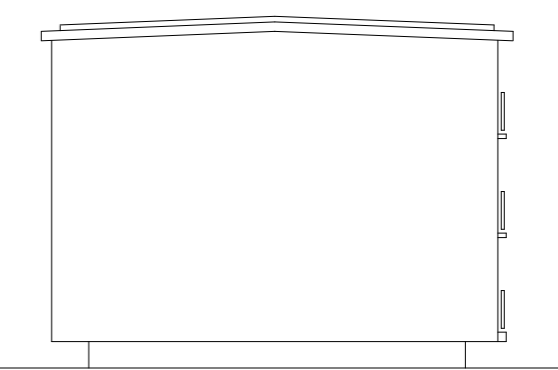
【南側立面図 S=1:200】



【北側立面図 S=1:200】

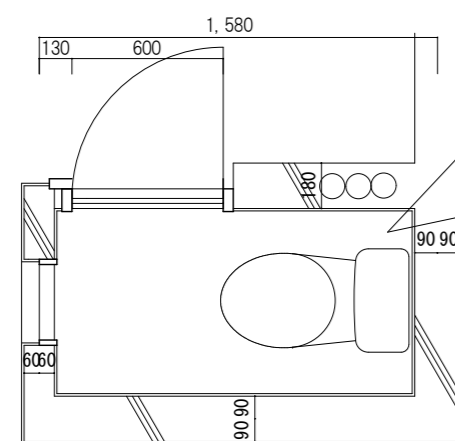
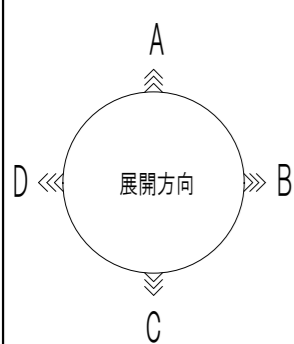


【東側立面図 S=1:200】



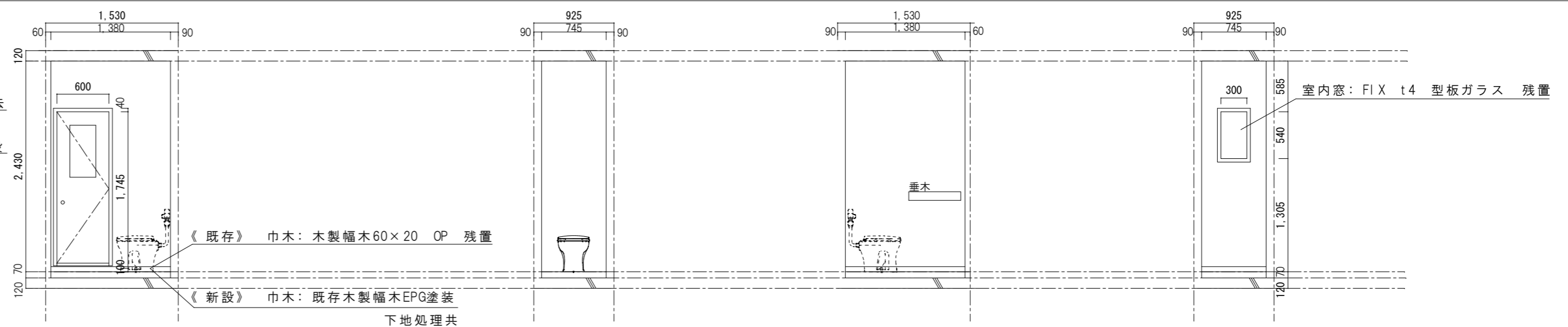
【西側立面図 S=1:200】

トイレ改修図



【トイレ平面図 S=1:30】

《既存》床：長尺塩ビシート 撤去  
 《新設》床：ケレン清掃の上  
 長尺塩ビシート 新設  
 マーブル柄



【A方向展開図 S=1:50】

【B方向展開図 S=1:50】

【C方向展開図 S=1:50】

【D方向展開図 S=1:50】

# 機械設備工事特記仕様書

<b>I 工事概要</b>	
1 工事名称	狭山市市営住宅霞野団地屋上防水等改修工事
2 工事場所	狭山市入間川2丁目3番6号
3 工期	契約日から令和4年3月18日

4 建物概要					
建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考
① 市営住宅霞野団地	RC造	3階			
②					
③					
④					
⑤					

5 工事種目 (●印を付いたものを適用する。)						
	建物別及び屋外工事種目	①	②	③	④	⑤
○	空気調和設備					
○	換気設備					
○	排煙設備					
○	自動制御設備					
●	衛生器具設備	一式				
●	給水設備	一式				
●	排水設備	一式				
○	給湯設備					
○	消火設備					
○	厨房機器設備					
○	ガス設備					

6 指定部分	※無	対象部分:	工期: 令和 年 月 日
7 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)	1 専任期間の始期 請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで (現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで) の期間 ・ 令和 年 月 日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。 2 専任期間の終期 工事完成後、検査が終了 (発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。 3 専任期間の中断 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。		

8 工事範囲	図示のとおり
9 機械設備工事概要	・ 霞野団地の大便器の撤去・新設。 ・ 大便器系統の排水管の撤去・新設

10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通仕様書による。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命機材の選定 (2-3-③) ・設備更新を踏まえた計画 (2-3-④)</li> <li>・再生品の優先使用 (2-3-⑥) ・有害物質の放数量が少ない材料の使用 (2-4-②)</li> <li>・発生材の再資源化を推進 (3-1-⑥) ・フロン等の回収、破壊を行う (4-1-①)</li> <li>・代替フロンの使用抑制 (4-1-②) ・新冷媒の採用 (4-1-③)</li> <li>・太陽熱利用システムの導入 (5-1-②) ・高効率機器の採用 (5-2-②)</li> <li>・ゾーニングの工夫 (5-3-①) ・外気冷房制御の導入 (5-3-②)</li> <li>・搬送動力の低減 (5-3-③) ・ヒートポンプの採用 (5-3-④)</li> <li>・熱回収システムの導入 (5-3-⑤) ・コージェネレーションの導入 (5-4-①)</li> <li>・節水機器の採用 (6-1-①) ・雨水利用 (6-1-③) ・排水再利用 (6-1-④)</li> <li>・アスコン廃材の再利用 (6-3-②) ・再生塩ビ管の採用 (6-3-③)</li> </ul>
---	--

11 同時期発注の関連工事	○建築工事 ・ 電気設備工事
---------------	----------------

<b>II 工事仕様</b>	
1 共通仕様	<p>(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書 (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編)、公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (以下「標準仕様書等」という。)) 及び監督員の指示に従い施工する。          なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。          (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。          (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。</p> <p>2 特記仕様</p> <p>(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。          (2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。</p>

狭山市市営住宅霞野団地屋上防水等改修工事

項目	特記事項																													
① 機材等	<p>本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7A<sup>1)</sup>に含まれる有無を確認し、7A<sup>2)</sup>に含まれる機材は、使用しないこと。  <sup>1)</sup>「国等による環境物品等の調達推進に関する法律」(グリーン購入法)に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。  <sup>2)</sup>調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。          ・置く ※置かない</p> <p>2 電気保安技術者</p> <p>3 施工条件</p> <p>4 技能士の適用</p> <p>⑤ 機材の検査及び試験、施工の検査及び試験</p> <p>検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。          ※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所 (事前に監督員の承諾を得る) に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。          ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化物イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。          ※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに (概ね3ヶ月以内) 流入水・処理水の水質試験を行う。          試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。          ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。</p>																													
6 監督員事務所	本工事で ・ 設ける (規模 ) ※設けない																													
⑦ 官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。																													
⑧ 工事用電力・水等	本工事に必要な工事用電力及び水などの費用は、すべて受注者の負担とする。																													
⑨ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくことが ※できる ・ できない																													
10 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・ 本工事とする。																													
11 残土処分	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・ 構外搬出適切処理する。																													
12 埋め戻し土・盛土	※根切土の中の良質土 (但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ・ 山砂の類																													
13 再生砂、再生砕石、再生アスコン使用	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、使用できる。 ※使用できない。 再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。																													
⑭ 発生材の処理等	※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 (構外搬出処理費は ※本工事 ・ 別途)																													
15 容量等の表示	(1) 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。																													
16 配管	(1) 地中埋設配管 (排水管を除く) 1) 地中埋設機 (コンクリート製) ※要 (図示の箇所) ・ 不要 2) 地中埋設機 (キャッツアイ) ※要 (舗装部の分岐、曲部) ・ 不要 3) 埋設表示テープ (2倍折込み) ※要 ・ 不要																													
17 耐震施工	設備機器の固定等は、すべて「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計 ・ 施工指針2014年版)により行う。 ただし、設計用地震力 (水平及び鉛直) は次の設計用水平震度 K <sub>h</sub> 及び設計用鉛直震度 K <sub>v</sub> (K <sub>h</sub> /2) を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。																													
17-1 あと施工アンカー	<p>設計用水平震度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="4">耐震安全性の分類</th> </tr> <tr> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <th></th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階 屋上及び塔屋</td> <td>2.0 (2.0)</td> <td>1.5 (2.0)</td> <td>1.5 (2.0)</td> <td>1.0 (1.5)</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>&lt;2.0&gt; 1.5 (1.5)</td> <td>&lt;1.5&gt; 1.0 (1.5)</td> <td>&lt;1.5&gt; 1.0 (1.5)</td> <td>1.0 0.6 (1.0)</td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>&lt;1.5&gt; 1.0 (1.0)</td> <td>&lt;1.0&gt; 0.6 (1.0)</td> <td>&lt;1.0&gt; 0.6 (1.0)</td> <td>&lt;0.6&gt; 0.4 (0.6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ( ) 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。          &lt; &gt; 内の数値は水槽類に適用する。          ※上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階          中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの (平屋建の場合は無し)          重要機器は次のものを示す。          給水装置 排水装置 換気機器 空調機器 熱源機器          防災設備 監視制御設備 危険物貯蔵装置          火を使用する設備 避難経路上に設置する機器</p> <p>機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。          重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。          施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。          金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。          接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。          (原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)          あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。</p>	設置場所	耐震安全性の分類				特定の施設		一般の施設			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階 屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)	中間階	<2.0> 1.5 (1.5)	<1.5> 1.0 (1.5)	<1.5> 1.0 (1.5)	1.0 0.6 (1.0)	1階及び地下階	<1.5> 1.0 (1.0)	<1.0> 0.6 (1.0)	<1.0> 0.6 (1.0)	<0.6> 0.4 (0.6)
設置場所	耐震安全性の分類																													
	特定の施設		一般の施設																											
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																										
上層階 屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)																										
中間階	<2.0> 1.5 (1.5)	<1.5> 1.0 (1.5)	<1.5> 1.0 (1.5)	1.0 0.6 (1.0)																										
1階及び地下階	<1.5> 1.0 (1.0)	<1.0> 0.6 (1.0)	<1.0> 0.6 (1.0)	<0.6> 0.4 (0.6)																										

⑮ 防露保温工事	標準仕様書第2編によるほか下記による。																																																																		
空気調和設備工事の保温の種別	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>施工箇所</th> <th>保温種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ドレン管</td> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>a1・(ハ)・Ⅶ</td> </tr> <tr> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>b・(ハ)・Ⅶ</td> </tr> <tr> <td>天井内、PS内及び空隙壁中 浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)</td> <td>c2・(ロ)・Ⅶ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">蒸気管</td> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>A1・(イ)・Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>B・(ハ)・Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>C2・(ロ)・Ⅱ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">冷水・冷温水管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)</td> <td>屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)</td> <td>E3・(イ)・Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>A1・(ハ)・Ⅲ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">温水管 (膨張管を含む。)</td> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>A1・(イ)・Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>B・(イ)・Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>D・(ロ)・Ⅰ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">排水及び通気管</td> <td>屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)</td> <td>E3・(ハ)・Ⅲ</td> </tr> <tr> <td>及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>A1・(イ)・Ⅰ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)</td> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>a1・(イ)・Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>b・(イ)・Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>c2・(ロ)・Ⅰ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">排水及び通気管</td> <td>屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)</td> <td>e3・(ハ)・Ⅶ</td> </tr> <tr> <td>及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)</td> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>a1・(イ)・Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>b・(イ)・Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>c2・(ロ)・Ⅰ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">排水及び通気管</td> <td>屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)</td> <td>e3・(イ)・Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	施工箇所	保温種別	ドレン管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅶ	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ	天井内、PS内及び空隙壁中 浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	c2・(ロ)・Ⅶ	蒸気管	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅱ	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・Ⅱ	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	C2・(ロ)・Ⅱ	冷水・冷温水管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	E3・(イ)・Ⅱ	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	—	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(ハ)・Ⅲ	温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅰ	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	D・(ロ)・Ⅰ	排水及び通気管	屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	E3・(ハ)・Ⅲ	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	—	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅰ	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	c2・(ロ)・Ⅰ	排水及び通気管	屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	e3・(ハ)・Ⅶ	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	—	屋内露出 (一般居室、廊下)	—	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	c2・(ロ)・Ⅰ	排水及び通気管	屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	e3・(イ)・Ⅰ	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	—	屋内露出 (一般居室、廊下)	—
区分	施工箇所	保温種別																																																																	
ドレン管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅶ																																																																	
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ																																																																	
	天井内、PS内及び空隙壁中 浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	c2・(ロ)・Ⅶ																																																																	
蒸気管	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅱ																																																																	
	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・Ⅱ																																																																	
	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	C2・(ロ)・Ⅱ																																																																	
冷水・冷温水管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	E3・(イ)・Ⅱ																																																																	
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	—																																																																	
	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(ハ)・Ⅲ																																																																	
温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅰ																																																																	
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ																																																																	
	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	D・(ロ)・Ⅰ																																																																	
排水及び通気管	屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	E3・(ハ)・Ⅲ																																																																	
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	—																																																																	
	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅰ																																																																	
給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ																																																																	
	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ																																																																	
	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	c2・(ロ)・Ⅰ																																																																	
排水及び通気管	屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	e3・(ハ)・Ⅶ																																																																	
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	—																																																																	
	屋内露出 (一般居室、廊下)	—																																																																	
給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ																																																																	
	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ																																																																	
	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	c2・(ロ)・Ⅰ																																																																	
排水及び通気管	屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	e3・(イ)・Ⅰ																																																																	
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	—																																																																	
	屋内露出 (一般居室、廊下)	—																																																																	
給排水衛生設備工事の保温の種別	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>施工箇所</th> <th>保温種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">給水管</td> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>a1・(ハ)・Ⅶ</td> </tr> <tr> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>b・(ハ)・Ⅶ</td> </tr> <tr> <td>天井内、PS内及び空隙壁中 県営住宅PS内</td> <td>c2・(ロ)・Ⅶ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">排水及び通気管</td> <td>屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)</td> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>a1・(イ)・Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>b・(イ)・Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>c2・(ロ)・Ⅰ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">排水及び通気管</td> <td>屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)</td> <td>e3・(ハ)・Ⅶ</td> </tr> <tr> <td>及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	施工箇所	保温種別	給水管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅶ	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ	天井内、PS内及び空隙壁中 県営住宅PS内	c2・(ロ)・Ⅶ	排水及び通気管	屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	—	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	—	屋内露出 (一般居室、廊下)	—	給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	c2・(ロ)・Ⅰ	排水及び通気管	屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	e3・(ハ)・Ⅶ	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	—	屋内露出 (一般居室、廊下)	—																																			
区分	施工箇所	保温種別																																																																	
給水管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅶ																																																																	
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ																																																																	
	天井内、PS内及び空隙壁中 県営住宅PS内	c2・(ロ)・Ⅶ																																																																	
排水及び通気管	屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	—																																																																	
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	—																																																																	
	屋内露出 (一般居室、廊下)	—																																																																	
給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ																																																																	
	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ																																																																	
	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	c2・(ロ)・Ⅰ																																																																	
排水及び通気管	屋内露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	e3・(ハ)・Ⅶ																																																																	
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	—																																																																	
	屋内露出 (一般居室、廊下)	—																																																																	
19 防凍保温	<p>(注) 1. 消火、排水及び通気管のうち見えかきり部には塗装を施す。          2. 排水管の管理が耐火二階管、耐火V.Pの場合は、保温を要しない。          3. 施工種別bの材料及び施工順序3、4に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。          4. 機器類の保温材の種類は、(※グラスウール・ロックウール)とする。          5. 消火管屋外露出部保温仕様は、e3・(ハ)・Ⅶとする。          6. 便所内露出SUS管及び流し内露出SUS管は保温を要しない。          7. 空調設備を要する便所 (特別支援学校等) 以外の便所で高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工箇所によらず保温を要しない。          ※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。          ※屋外露出給水管 (呼び径20以下のみ) は、保温厚50mmの防凍保温を行うこと。          ・ 図示の屋外露出部 (給水管、消火管、給湯管、給排水管、弁類を含む。) は下記仕様により防凍保温を行う。          ※保温仕様は保温厚さを呼び径32以下は50mm、呼び径40以上は40mmとする。          ・ 保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。</p>																																																																		
20 塗装	<p>下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。          ※機械室、書庫、倉庫 ・          下記の金属電線管は塗装を行う。          ※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出 (※見えかきり部 )</p>																																																																		
21 電線	<p>特記なき電線・ケーブルは、原則としてEコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。          ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。</p>																																																																		
22 はつり及びあと施工アンカー打設	<p>既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前、図面に明示する箇所についてX線探査調査を実施すること。</p>																																																																		

⑯ 管の埋設深さ	(1) 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。 (2) 構内車両通路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。 (3) その他の場所では、地表面 (舗装する部分では路盤材下面) から管の上端まで300mmとする。
⑰ 既設管分岐・接続	既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。 やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。
⑱ 絶縁継手の設置・種別	※コンクリートの建築物に出入りする箇所の付近の露出部配管 ※鋼管と銅管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 ※50A以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ ・ 全て絶縁フランジ
26 天井仕上げ区分	( ) 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
27 他工事との取合区分	スリーブ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合わせる。
⑲ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。
⑳ 保険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写しを監督員に提出する。
㉑ 配管識別	配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。
31 墜落制止用器具 (フルハーネス型)	※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン (平成30年6月22日付け基発0622第2号) による ・ 使用を要しない
32 その他	完成図書の電子納品運用ガイドライン ※適用する ・ 適用しない 完成図の紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。 また、完成図の中に主要機器一覧表 (名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等) を記載すること。 県営住宅の完成図書の提出部数は、A1二つ折り1部及びA3二つ折り3部とする。 三相誘導電動機はJIS C 4213 (IE3) トップランナーモーターとする。 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
① 共通事項	改修工事で特別に付加すべき事項において指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。
2 改修部分の足場	本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。 (1) 内部足場 ※ 脚立足場 ・ 枠組足場 ・ (2) 外部足場 ※A種 (枠組足場) ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ※足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について (厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日) の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。
3 既存部分養生・既存家具等養生	(1) 関係受注者者と共用部分 ※別契約の関係受注者者が定着したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で負担とする。(種別は(2)による。) (2) 本工事で単独で必要となる養生は、下記による。 ※ビニールシート ・ 合板 ・
④ 備品等の移動	・ 別途工事 ・ 本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事
5 仮設間仕切り	(1) 関係請負業者と共用部分 ※別契約の関係受注者者が定着したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で負担とする。(種別は(2)による。) (2) 本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。 ※A種 単管下地全面シート張り ・
⑥ 撤去後機材の扱い	(1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図区分による。 (2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。 それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出する。
7 支持金物の再使用	(1) インサート金物 ・ インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ※新品 (2) 形鋼支持金物等 ・ 再使用できる ※新品
8 あと施工アンカーの種類	金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
9 フロン回収	冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。 ※破壊プラント搬入 ・ フロン再生後引き渡し ・ 未再生引き渡し 「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に基づき処理すること。
10 総合調整	・ 全体再調整 ※改修部及び影響部のみ調整
11 既設基礎部の解体	建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。 現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。 粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。
12 その他	(1) 図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。 (2) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように締密に打合せを行うこと。 (3) 特に騒音振動など周辺に大きな影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。 (4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの (一財) 日本石油燃焼機器保守協会) が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。 2021.4

## 機械設備特記仕様書 (1)

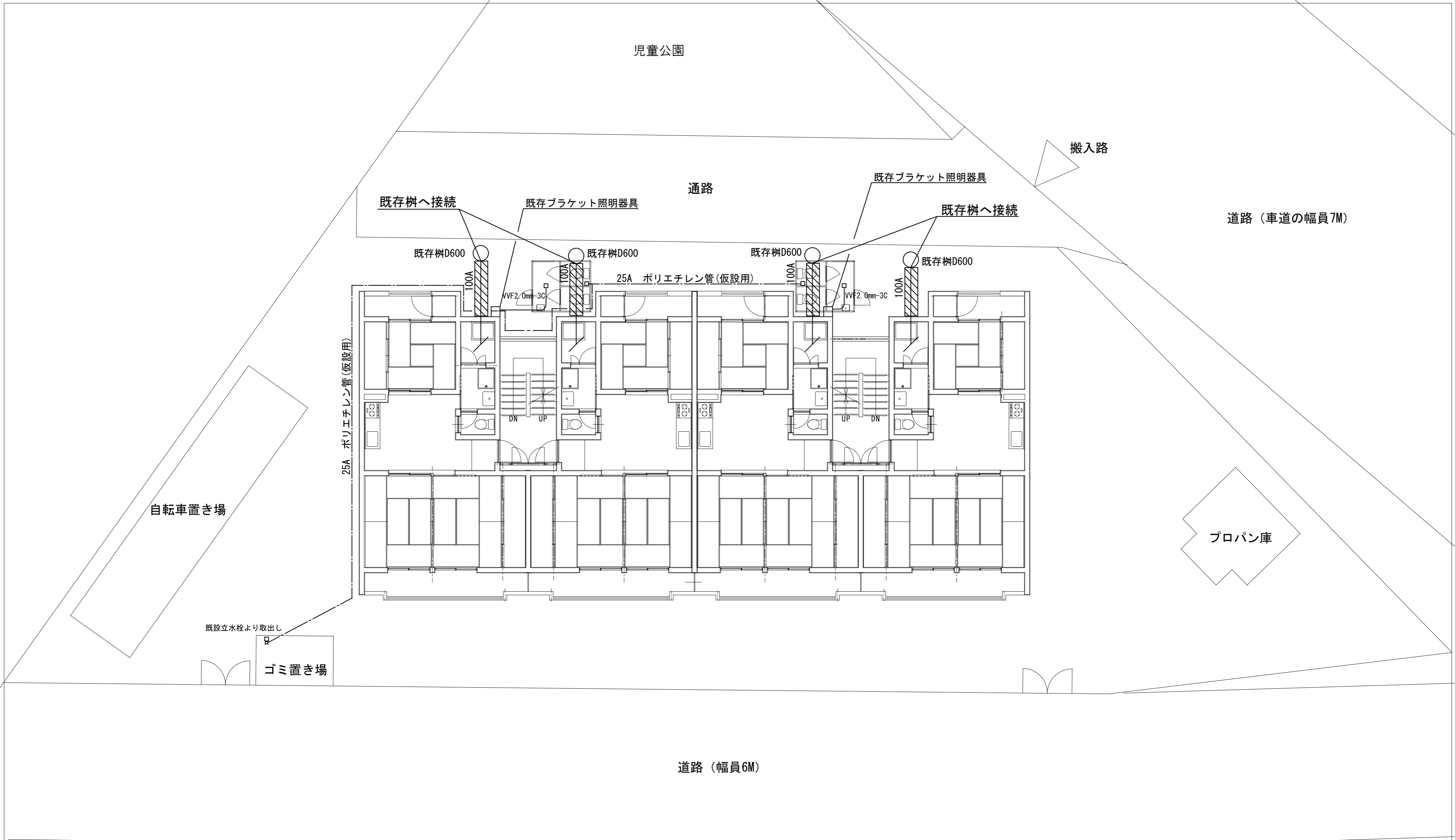
○ 空 気 調 和 設 備	1 設計温湿度	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。</p>		外 気		屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	%	℃	%	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	%	℃	%	○ 換 気 設 備	1 長方形ダクト	※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分）・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）	● 給 水 設 備	1 配管材料	配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。 <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（水道直結部分）</td> <td>※HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>市営住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内（注5）</td> <td>※高密度ポリエチレン管（32A以上）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管（10mm保温付）</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内（注5）</td> <td>※高密度ポリエチレン管（32A以上）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管（10mm保温付）</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>（注）1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWWA G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部（・圧縮 ※'A'材）・拡張部（便所・廊下流し廻り露出配管 ※拡張）とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-IIによる。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用樹を設ける。 5. 口径25Aにて大機器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂（PE100）を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）	※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD	地中埋設部（水道直結部分）	※HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	地中埋設部（一般部分）	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	市営住宅 住戸内	※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）	便所天井内、PS内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）	便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD	地中埋設部（一般部分）	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	便所天井内、PS内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）	便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	○ 給 湯 設 備	1 配管材料	・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆鋼管（M鋼管） ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）
		外 気		屋 内																																																																								
		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																					
	夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	%	℃	%																																																																					
	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	%	℃	%																																																																					
	施 工 箇 所	管 種 別																																																																										
	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）	※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管																																																																										
	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																										
	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD																																																																										
	地中埋設部（水道直結部分）	※HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																																																										
	地中埋設部（一般部分）	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																																																										
	市営住宅 住戸内	※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）																																																																										
	便所天井内、PS内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）																																																																										
	便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）																																																																										
	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																										
	その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																										
	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																										
湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																											
保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD																																																																											
地中埋設部（一般部分）	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																																																											
便所天井内、PS内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）																																																																											
便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）																																																																											
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																											
その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																											
2 総合試運転調整	※本工事 ・別途 風量調整 ※する ・しない 風量調整 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ・しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ※する ・しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・しない	2 円形ダクト	※スパイラルダクト（亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（VU） ・耐火二層換気管又は耐火VP ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無） （注）1 使用区分は図示による。	3 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト	3 弁 類	（1）規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 （2）ステンレス管に取付ける弁は、JV8-IIによる。																																																																					
3 煙 道	（1）鉄板厚 （※3.2mm ・4.5mm） （2）ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない （3）ばいじん量測定口 ※設ける（測定口は80φとする） ・設けない	3 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト	4 ガス瞬間湯沸器	※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型	5 電気給湯器	飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。																																																																					
4 煙 突	※別途 ・本工事	4 チャンパー	（1）内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 （2）消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 （3）外壁に面するガラリーに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	5 配管材料	屋内消火栓用 一般配管※SGP（白） ・STPG370（白）Sch40 消火用 地中埋設※SGP-VS ・HIVP 一般配管※SGP（白） ・STPG370（白）Sch40 不活性ガス消火用 ※SGP-VS ・HIVP 地中埋設 ※STPG370（白）Sch40	2 建物導入部配管	図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4（・（a） ・（b） ・（c））																																																																					
5 長方形ダクト	※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分）・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）	5 ダンパー	（1）防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 （2）ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）	○ 消 火 設 備	1 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管	2 ガス漏れ警報 遮断装置	漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。																																																																				
6 円形ダクト	※スパイラルダクト（亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（VU） ・換気用耐火二層管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無） （注）1 使用区分は図示による。	6 多湿箇所の排気ダクト	（1）排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU） （防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） ・ （2）水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける	2 建物導入部配管	図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4（・（a） ・（b） ・（c））	○ ガ ス 設 備	1 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管																																																																				
7 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト	7 保 温	下記ダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・（ロ）・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・湯沸室 ・ ）用の隠蔽ぺい部ダクト（仕様はh・（イ） ・Ⅹとし範囲は図示による）	3 液化石油ガスの供給槽	ガス設備工事の施工者にガスの供給槽は付帯しない。	○ 厨 房 設 備	1 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管																																																																				
8 チャンパー	（1）内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 （2）ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 （3）外壁に面するガラリーに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	8 試運転調整	風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ・しない	2 ガス漏れ警報 遮断装置	漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。	○ 厨 房 設 備	1 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管																																																																				
9 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・ガラスウール製	9 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・ガラスウール製	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	○ 厨 房 設 備	1 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管																																																																				
10 ダンパー	（1）防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 （2）ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）	10 ダンパー	（1）防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 （2）ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）	2 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	○ 厨 房 設 備	1 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管																																																																				
11 配管材料	（1）冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ （2）冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ （3）フライン管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ （4）冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 （保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上） ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。 （5）ドレン管（屋外） ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管VP ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（ISO/ACT/11パイ 相当品） ・耐火二層管VP（FDPS-1） ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管VP （消防協議事項： ） ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 （6）油管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ （7）蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 運 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40 ・ステンレス鋼管 （8）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白）	11 配管材料	（1）冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ （2）冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ （3）フライン管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ （4）冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 （保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上） ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。 （5）ドレン管（屋外） ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管VP ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（ISO/ACT/11パイ 相当品） ・耐火二層管VP（FDPS-1） ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管VP （消防協議事項： ） ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 （6）油管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ （7）蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 運 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40 ・ステンレス鋼管 （8）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白）	2 一体形タンク	一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。	○ 厨 房 設 備	1 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管																																																																				
12 弁 類	規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。	12 弁 類	規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	○ 厨 房 設 備	1 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管																																																																				
13 温 度 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空調機のサブライチャンパー、レンジダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー（往）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・	13 温 度 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（往）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	○ 厨 房 設 備	1 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管																																																																				
14 圧 力 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（往）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・	14 圧 力 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（往）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	○ 厨 房 設 備	1 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管																																																																				
15 瞬間流量計	瞬間流量計はビーター管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・個）付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・着脱形）を設ける。	15 瞬間流量計	瞬間流量計はビーター管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・個）付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・着脱形）を設ける。	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	○ 厨 房 設 備	1 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管																																																																				
16 油面制御装置	※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・着脱形）を設ける。 制御盤には（※給油ポンプ制御 ※減油油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。	16 油面制御装置	※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・着脱形）を設ける。 制御盤には（※給油ポンプ制御 ※減油油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	○ 厨 房 設 備	1 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管																																																																				
17 冷却塔	※直交流式 ・向流型 ※レジオナ菌菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	17 冷却塔	※直交流式 ・向流型 ※レジオナ菌菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	○ 厨 房 設 備	1 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管																																																																				
18 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。 （1）圧縮機原動機の制御方式 ※回転制御 ・オンオフ制御 （2）冷媒 HFC（R410A、R32又はR407C） （注）1 R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 （注）2 R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。 （3）埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	18 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。 （1）圧縮機原動機の制御方式 ※回転制御 ・オンオフ制御 （2）冷媒 HFC（R410A、R32又はR407C） （注）1 R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 （注）2 R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。 （3）埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	○ 厨 房 設 備	1 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管																																																																				
		19 その他	衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	○ 厨 房 設 備	1 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管																																																																				


撤去器具リスト

名称	仕様	数量	備考
洋風大便器	タンク式、紙巻器、付属品共	12	

新設器具リスト

記号	名称	仕様	数量	備考
D-1	床置壁排水大便器	手洗付タンク(右側面レバー)、普通便座、棚付二連紙巻器、ロータンク用止水栓、付属品共	6	CS215BPR, SH215BAS, TC301, YH600FMR, TS731F2U BC-ZA10P, DT-ZA180EP, CF-49AT, CF-AA64KU/LD, LF-3SV412
D-2	床置壁排水大便器	手洗付タンク(左側面レバー)、普通便座、棚付二連紙巻器、ロータンク用止水栓、付属品共	6	CS215BPR, SH215BAJS, TC301, YH600FMR, TS731F2U BC-ZA10P, DT-ZA180EPA, CF-49AT, CF-AA64KU/LD, LF-3SV412
T-1	I型手すり	付属品共	12	YHB603

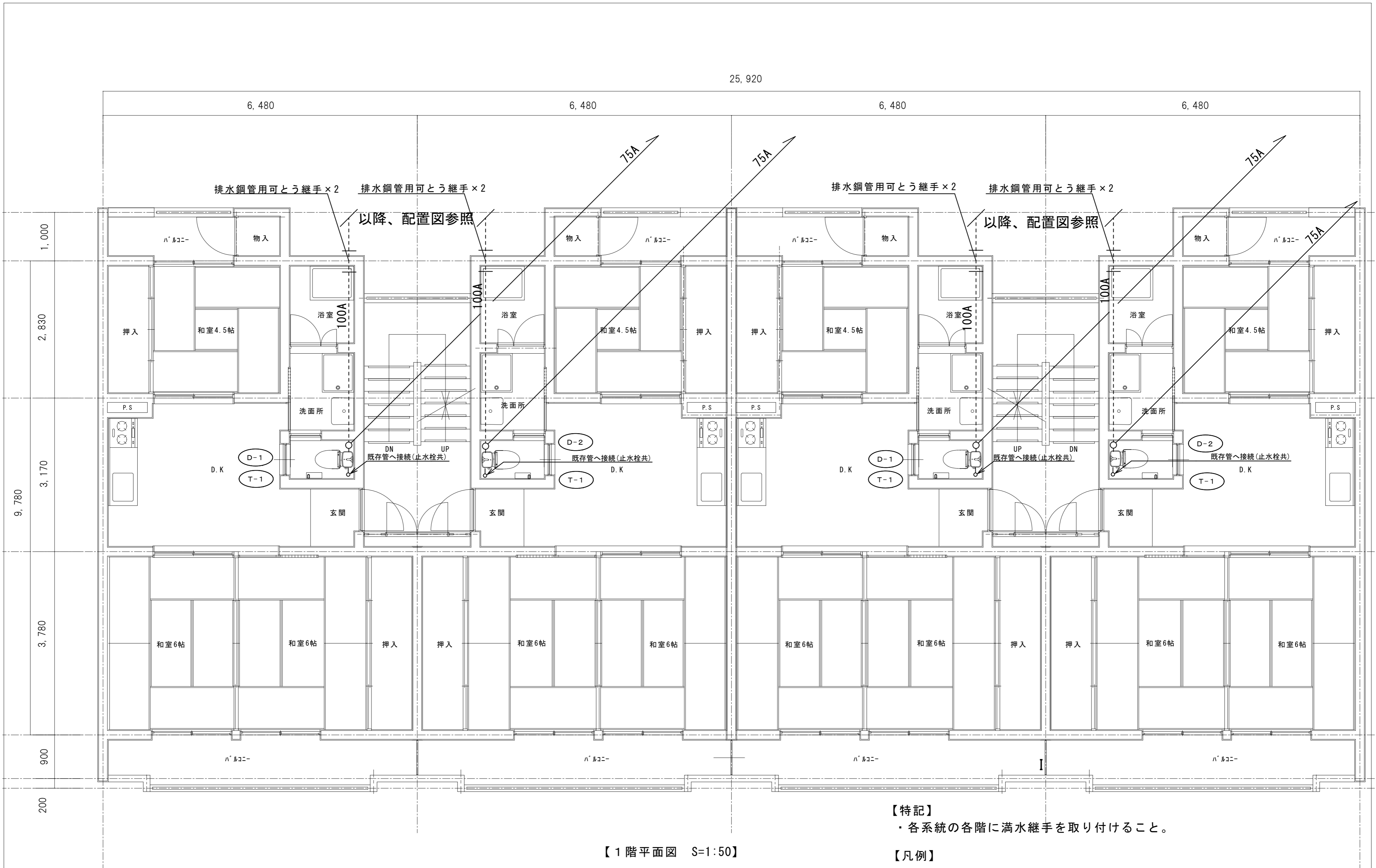


【凡例】  
 : 土工事

【特記】  
 ・仮設トイレの電源は図示の屋外照明器具から取る(照明器具取り外し・再取付)。  
 ・仮設トイレの排水は既存樹へ接続する。  
 ・屋外排水管は撤去(鋳鉄管)・新設(VP管)とする。

狭山市市営住宅霞野団地屋上防水等改修工事	狭山市都市建設部住宅営繕課	配置図	S=1:100	M-04
----------------------	---------------	-----	---------	------

25,920



【1階平面図 S=1:50】

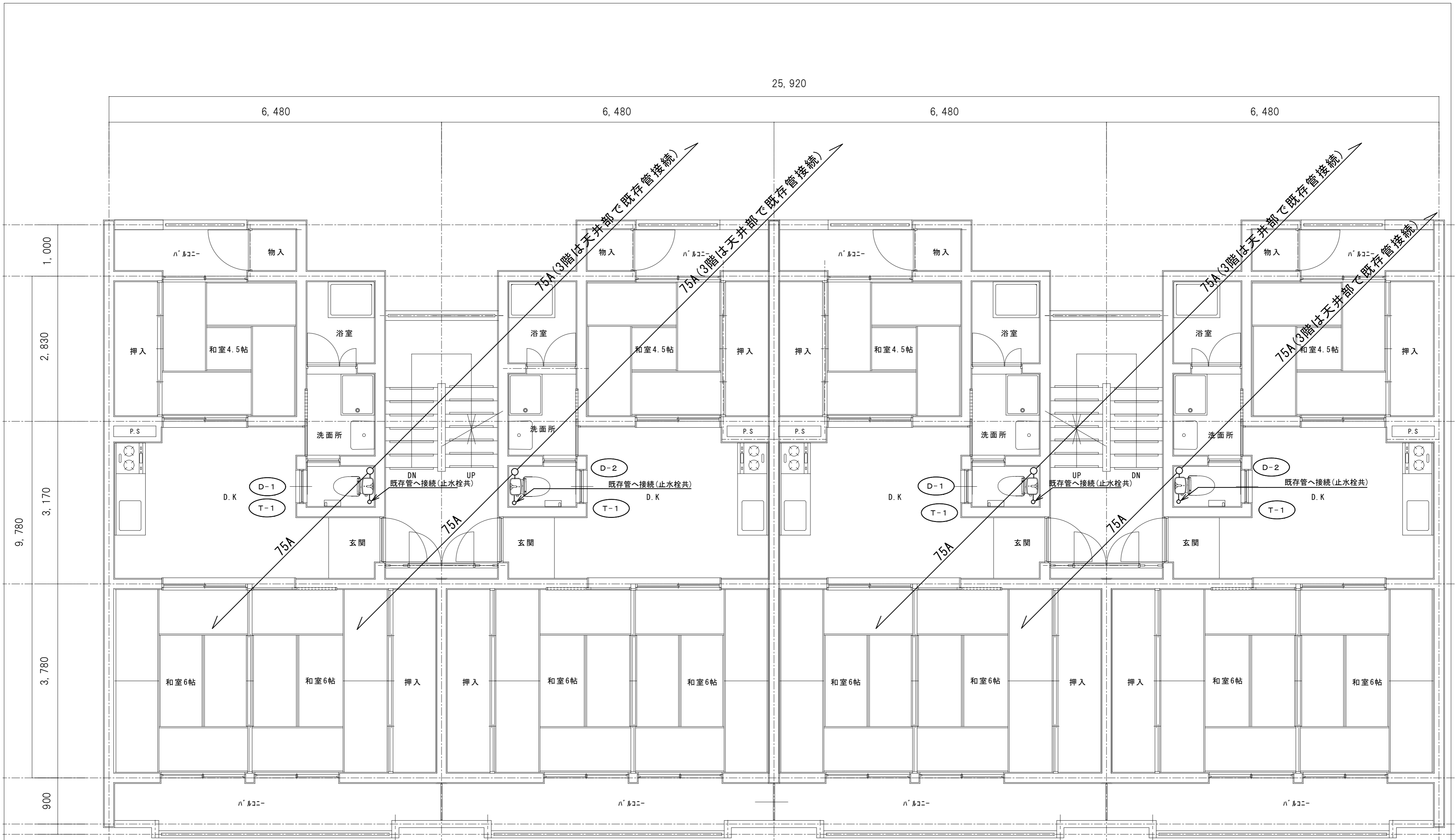
【特記】

・各系統の各階に満水継手を取り付けること。

【凡例】

—— : 耐火VP+遮音カバー(耐火VP用)+化粧カバー(樹脂製)  
 - - - - : 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

※遮音カバー参考品番: FSVPG75



【2・3階平面図 S=1:50】

【特記】

- ・各系統の各階に満水継手を取り付けること。

【凡例】

—— : 耐火VP+遮音カバー(耐火VP用)+化粧カバー(樹脂製)

※遮音カバー参考品番: FSVP75

25,920

6,480

6,480

6,480

6,480

以降、配置図参照

以降、配置図参照

75A

75A

75A

75A

100A

100A

100A

100A

1,000

2,830

3,170

9,780

3,780

900

200

ハコ

物入

押入

和室4.5帖

浴室

洗面所

玄関

D.K

DN  
床上まで給水管撤去

UP

床上まで給水管撤去

D.K

物入

ハコ

和室4.5帖

押入

押入

和室4.5帖

浴室

洗面所

玄関

D.K

UP  
床上まで給水管撤去

DN

床上まで給水管撤去

D.K

物入

ハコ

和室4.5帖

押入

和室6帖

和室6帖

押入

押入

和室6帖

和室6帖

和室6帖

和室6帖

押入

押入

和室6帖

和室6帖

ハコ

ハコ

ハコ

ハコ

【特記】

・ 図示する大便器及び給排水管等を撤去する。

【凡例】

斜線 : スラブはつり補修

— : 鑄鉄管

斜線 : 土工事(床下スペース内)

【2・3階平面図 S=1:50】

25,920

6,480

6,480

6,480

6,480

1,000

2,830

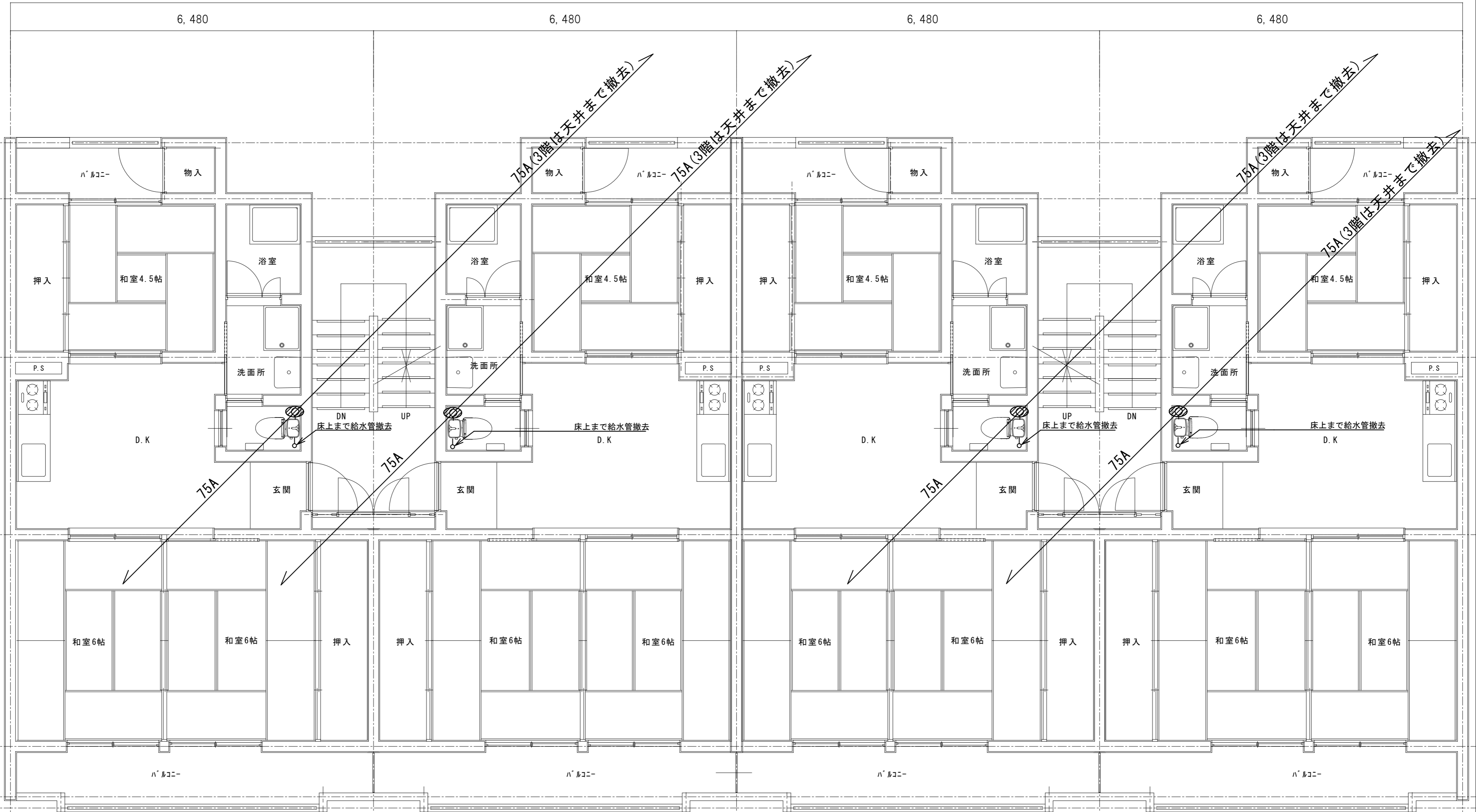
9,780

3,170

3,780

900


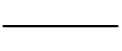
200



【特記】

・図示する衛生陶器及び給排水管等を撤去する。

【凡例】

-  : スラブはつり補修
-  : 铸铁管

【2・3階平面図 S=1:50】